

SHARP®

シアタープロジェクター

形名

エクスバイ ゼット

XV-Z3000

取扱説明書



HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびはシャープシアタープロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・6ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

はじめに

基本的な使い方

設置する

接続する

使ってみる

便利な機能

付録

まず

はじめに	ページ	ページ	
もくじ	2	使用上のご注意	11
この取扱説明書の見かた	4	各部のなまえとはたらき	13
付属品について	5	• 乾電池の入れかた	16
安全に正しくお使いいただくために ...	6	• リモコンの使用範囲	17

基本的な使いかた

基本的な使いかた	18
----------------	----

設置する

本機を設置する	20	• 投射方式	21
• 本機の設置のしかた	20	• 画面（スクリーン）サイズと 投射距離	22
• 基本的な設置（前面からの投射）	20		
• 天井取り付けによる投射	20		

接続する

接続する機器と使用する		プロジェクターをコンピュータで 制御する	29
ケーブル例	24		
ビデオ機器を接続する	25		
コンピュータを接続する	28		

さあ

使ってみる

電源の入れかた/切りかた	30	• 投射画像を調整する	32
• 電源コードを接続する	30	• 画面の台形歪みを補正する （キーストーン補正）	34
• 電源を入れるとき	30	• 入力信号に合わせた 画面サイズを選ぶ	38
• 電源を切る（待機状態にする） とき	31		
投射のしかた	31		
• 入力を切り換える	31		

リモコンで投映画像を操作する	40	本機を楽しむための設定をする (オプションメニュー)	49
• 映像を上下にシフトする (イメージシフト)	40	• 映像の位置を上下方向に調整する (画面シフト)	49
• アイリス切換機能を使用する	40	• オーバースキャンの調整をする	49
• 投映中の画像を静止画にする	40	• 映像の縦サイズを調整する (字幕調整)	49
• 投映する画像に合わせた 映像モードを選ぶ	40	• 画面に表示されている情報を表示 しないように設定する (画面表示)	50
メニュー内容一覧	41	• 映像信号方式を設定する	50
メニュー操作のしかた	43	• 入力信号タイプを設定する	50
• メニュー画面で調整する	43	• HDMI設定を選択する	50
投映した映像を調整・設定する (映像調整メニュー)	45	• 無信号時に投映する画面を設定する (バックグラウンド)	50
• 映像モードを選ぶ	45	• 無信号状態が続いたときに電源を 自動的に待機状態にする (無信号電源オフ機能)	51
• お好みの映像に調整する	45	• ランプ使用時間を確認する (ランプ時間 (残率))	51
• 色味を変える (色温度設定)	46	• 投映環境に合わせた投映方式を 選択する	51
• 色を調整する (C.M.S.)	46	• RS-232C の通信速度を設定する (RS-232C 設定)	52
• プログレッシブモードを選択する	46	• 電源が待機状態時の消費電力を おさえる	52
• ドットのちらつきやノイズを軽減する (DNR)	47	• ファンモードを設定する	52
• アイリス切換機能を使用する	47	• 設定値を工場出荷状態に戻す	52
• ランプ設定を選択する	47		
コンピュータの画面を調整・設定する (同期調整メニュー)	48		
• 縦編模様やチラツキを軽減する (同期調整)	48		
• 入力信号に合わせた解像度を選ぶ (特殊モード設定)	48		
• コンピュータの画面を自動調整する (自動同期調整機能)	48		
• 入力信号の情報を確認する	48		

こんなときは・・・

付録

お手入れのしかた	53	RGB入力信号 (推奨信号) について	61
お知らせ表示について	54	故障かな?と思ったら	62
ランプを交換する	56	お客様ご相談窓口のご案内	64
• ランプについて	56	アフターサービスについて	66
• ランプ交換のしかた	57	仕様	67
• ランプ使用時間をリセットする	58	寸法図	68
本体のコネクターのピン配置	59	索引	71
RS-232C仕様とコマンドの設定	60		

この取扱説明書の見かた

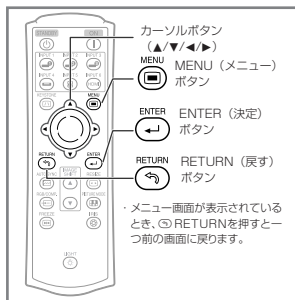
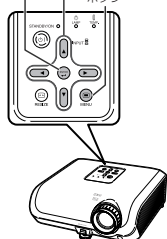
■機種により仕様の一部異なりますが、接続や操作のしかたは同じです。

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なる場合があります。

メニュー操作のしかた

ENTER (決定) ボタン

カーソルボタン (▲▼/◀▶)
MENU (メニュー) ボタン



使用するボタンです

メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき
・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 **MENU**を押す
選んでいる入力「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **←**を押す、調整するメニューアイコンを選ぶ
選ばれたアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション1
	オプション2

メモ

・入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は選択できません。

入力1の「映像調整」メニュー画面例



操作するボタンです

表示される画面です

便利な機能



43

お知らせ

・特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

・操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをする
ときは

53ページ

故障かな?と
思ったら

62ページ

索引

71ページ

付属品について

付属品

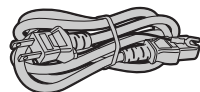
リモコン



単4形乾電池
(2本)

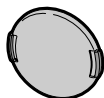


電源コード (1.8 m)



この電源コードは
本機専用品です

レンズキャップ (装着出荷)



- ・取扱説明書 (本書)
- ・保証書 (箱に貼り付け)

別売品のご案内

■ランプユニット

AN-100LP
または
AN-XR10LP

■DIN-D-sub RS-232C アダプター (15cm)

- ・コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。
変換コネクター (市販品) が必要な場合があります。


AN-A1RS


■3RCA (コンポーネント) / 15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m)

AN-C3CP2


安全に正しくお使いいただくために


この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


 **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意** 人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

警告

表示された電源電圧で使用する



指定された電源電圧で使用する

- 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



電源プラグを抜く

- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

レンズをのぞかない



禁止

- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない

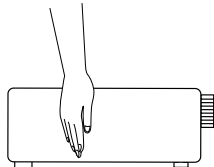


禁止



高温注意

- 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



販売店に依頼する

- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



禁止

- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源プラグを抜く

- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



水ぬれ禁止



水ぬれ禁止

- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



接触禁止

- 感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着した状態では使用しない

風呂、シャワー室では使用しない



●ホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ほこりを取る



●火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

電源コードを破損するようなことはしない



禁止

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



禁止

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



交換を依頼する

●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

油煙、湯気、湿気、ホコリなどが多い場所に置かない

重いものを置かない



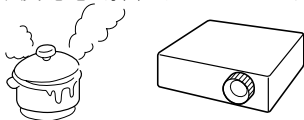
禁止

●湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

●この機器の上に重いものを置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

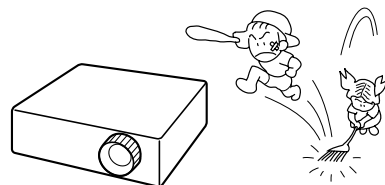


禁止

●この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

通風孔をふさがない



禁止

●この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。

●次のような使い方はしないでください。

この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



禁止

置台に据えつけるときは



転倒防止

●キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

<p>設置場所を変える場合は必ず接続線ははずす</p>  <p>接続線ははずす</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置場所を変える場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</p>  <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p>  <p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	<p>お手入れのときは電源プラグを抜く</p>  <p>電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</p>  <p>確実に差し込む</p>  <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。 ● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆらみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	<p>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</p>  <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にホコリがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などに相談ください。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない



禁止



- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液が漏れたときは素手でさわらない



禁止

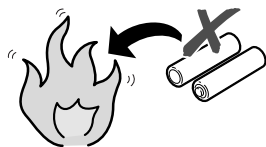


- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない
乾電池は充電しない



禁止

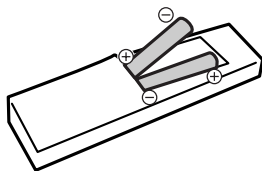


- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる



表示どおりに入れる

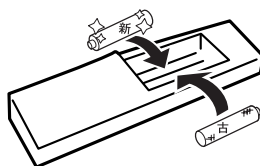


- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない
新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



禁止

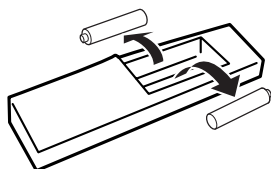


- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す



電池を取り出す



- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

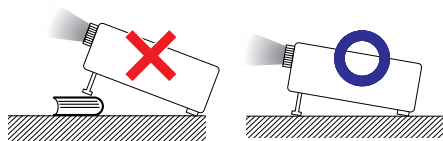
- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー・ランプ等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。また、故障の原因となる場合があります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは

- 本機を設置するときは、水平な場所に設置しアジャスターの調整範囲内（約8度）でご使用ください。
- プロジェクターをお買い上げ後、最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、故障や異常ではありません。ご使用にとまらな、なくなります。

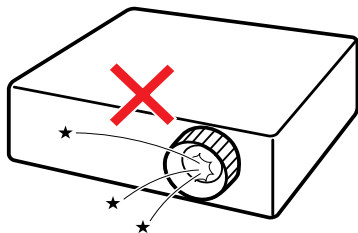


山岳など高地（標高約1500m）以上でご使用になるとき

- 空気の希薄な高地などでご使用になるときは、ファンモードを「高」に設定してください。「標準」のまま使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～+60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が働き自動的に待機状態になる場合があります。（54～55ページ）このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。
- 電源を切ったとき、本体の冷却のため、しばらくは冷却ファンが動作します。電源コードをコンセントから抜くときは、必ず冷却ファンが停止してから抜いてください。設置状態や本体内部の温度により、冷却ファンが停止する時間は異なります。

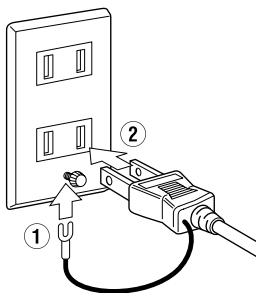
取り扱い時のご注意

- 取り扱うときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。
- 取り扱うときは、レンズ部を持たないでください。
- 使用しないときや、収納するときは、レンズキャップを取り付けてください。（13ページ）
- 直射日光の当たる場所や、熱器具などの近くに放置しないでください。キャビネットの変形・変色の原因になります。

使用上のご注意(つづき)

電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

使用時のご注意

目をとどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、とどき目を休めてください。

ランプ交換に関する注意

- 「ランプについて」(56ページ)もご覧ください。

■廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

- ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

海外でご使用になるときは

- お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

・本製品のICチップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられています。

・DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device)、BrilliantColor™は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。

・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

・PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

・Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。

・HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

・その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

電源表示

30, 54

30, 54

ランプ表示

STANDBY/ON (スタンバイ/電源入) ボタン

30

電源を入れたり、待機状態にします。

ENTER(決定) ボタン

43

メニューで選択/調整した項目を決定します。

RESIZE

(画面サイズ) ボタン
画面サイズ(標準やスクイーズ)を切り換えます。

38

54

温度モニター表示

31

INPUT(入力切換) ボタン

(▲/▼)
入力モード(入力1、2、3、4、5、6)を切り換えます。

43

MENU

(メニュー) ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

43

カーソルボタン

(▲/▼/◀/▶)
メニュー設定に使用します。

前面

フォーカスリング

投映画像のピントを合わせます。

32

53 吸気孔

32 ズームリング

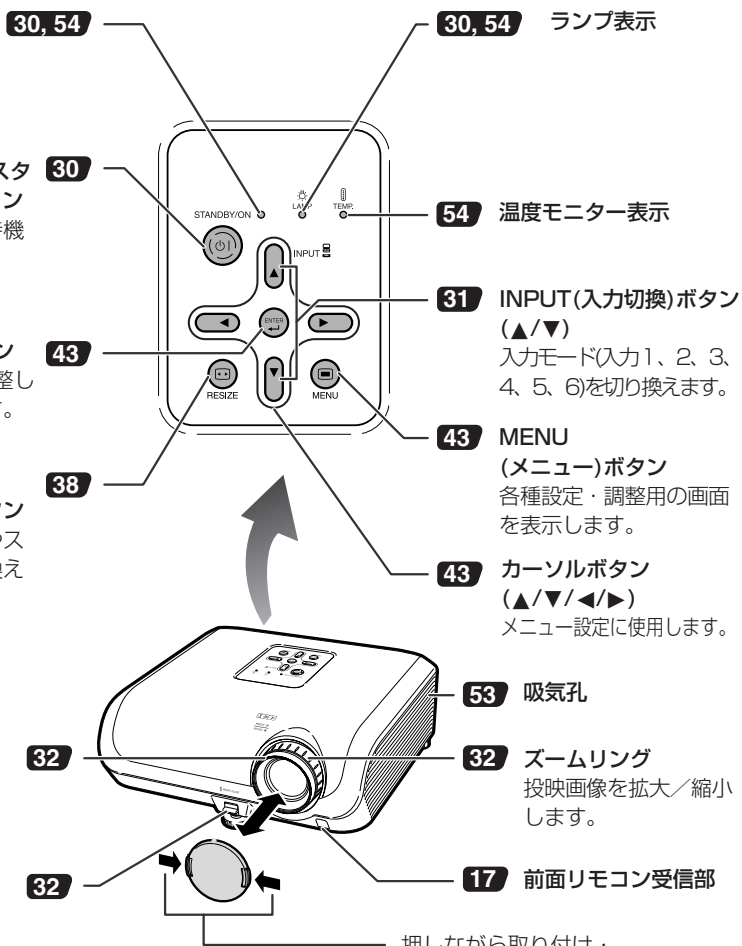
投映画像を拡大/縮小します。

高さ調整レバー

32

17 前面リモコン受信部

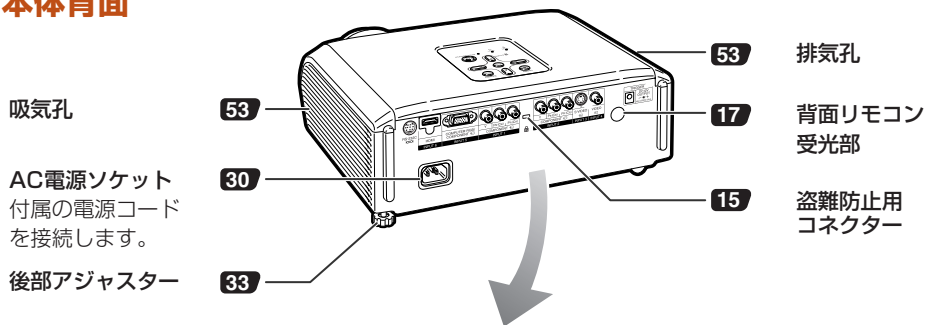
押しながら取り付け・取り外しをします。



各部のなまえとはたらき(つづき)

■の中の数字は参照ページを示します。

本体背面



吸気孔

排気孔

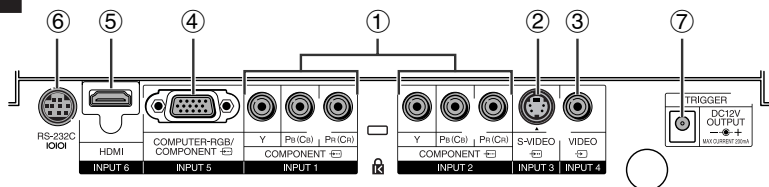
背面リモコン
受光部

盗難防止用
コネクター

AC電源ソケット
付属の電源コード
を接続します。

後部アジャスター

背面端子



端子	内容	ページ
①	INPUT1、2 (入力1、2) 端子 コンポーネント (色差) 出力端子付き機器 (DVD、デジタルチューナー、ハードディスクレコーダーなど) を接続します。	25
②	INPUT3 (入力3) 端子 S映像出力端子付き機器 (DVDプレーヤー、ビデオなど) を接続します。	26
③	INPUT4 (入力4) 端子 S映像出力端子のないビデオなどを接続します。	26
④	INPUT5 (入力5) 端子 ■ コンポーネント (色差) 出力端子付き機器 (DVD、デジタルチューナー、ハードディスクレコーダーなど) を接続します。	27
	■ コンピュータと接続します。	28
⑤	INPUT6 (入力6) 端子 HDMI映像出力端子付き機器を接続します。	27
⑥	RS-232C端子 プロジェクターを制御するためのコンピュータを接続します。	29
⑦	TRIGGER (トリガー) 端子 本機の電源「入」と同時に、この端子から制御信号 (DC 12V) が出力されます。電動スクリーンなどの対応機器と接続すれば、本機の電源と連動させることができます。	—

リモコン

■の中の数字は参照ページを示します。

STANDBY (スタンバイ) ボタン
電源を待機状態にします。

KEYSTONE (キーストーン補正) ボタン
投射角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

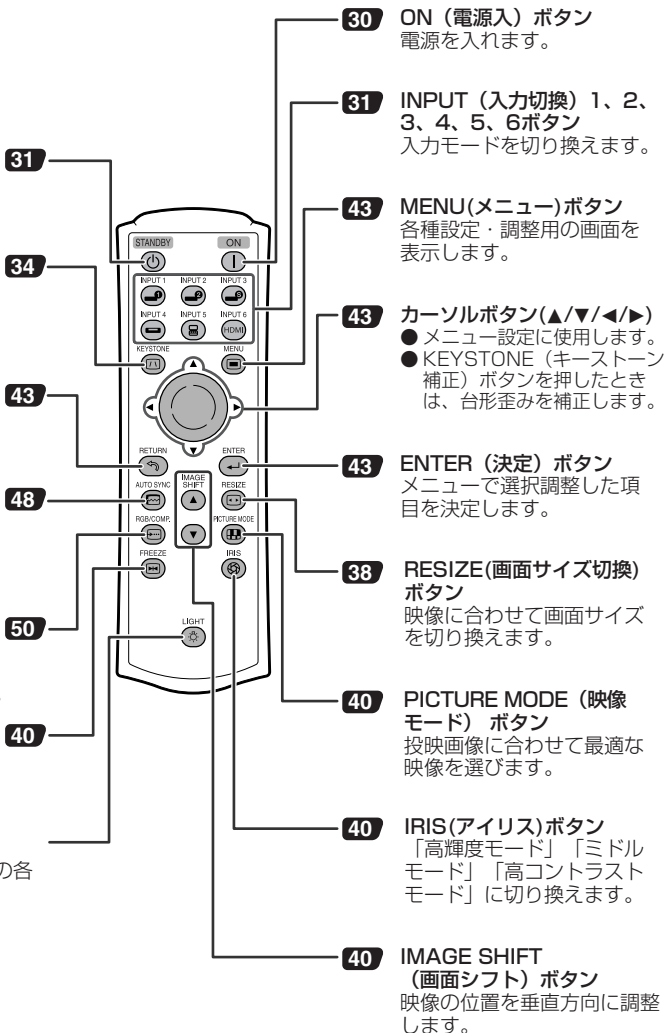
RETURN (戻す) ボタン
メニュー画面操作時、一つ前の画面に戻します。

AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

RGB/COMP. (RGB/コンポーネント信号切換) ボタン
RGB信号とコンポーネント(色差)信号を切り換えます。

FREEZE (静止画) ボタン
映像を静止画の状態にします。

LIGHT (バックライト) ボタン
このボタンを押すとリモコンの各ボタンが発光します。



30 ON (電源入) ボタン
電源を入れます。

31 INPUT (入力切換) 1、2、3、4、5、6ボタン
入力モードを切り換えます。

43 MENU (メニュー) ボタン
各種設定・調整用の画面を表示します。

43 カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)
●メニュー設定に使用します。
●KEYSTONE (キーストーン補正) ボタンを押したときは、台形歪みを補正します。

43 ENTER (決定) ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

38 RESIZE (画面サイズ切換) ボタン
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

40 PICTURE MODE (映像モード) ボタン
映画像に合わせて最適な映像を選びます。

40 IRIS (アイリス) ボタン
「高輝度モード」「ミドルモード」「高コントラストモード」に切り換えます。

40 IMAGE SHIFT (画面シフト) ボタン
映像の位置を垂直方向に調整します。

本体の盗難防止用コネクタ (Kensington Security Standard connector) について
・市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



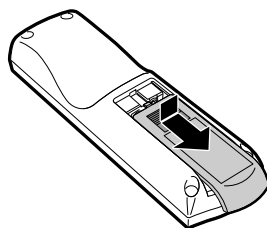
メモ

■盗難防止用コネクタは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

各部のなまえとはたらき(つづき)

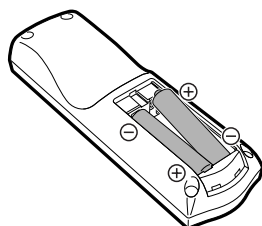
乾電池の入れかた

1 カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

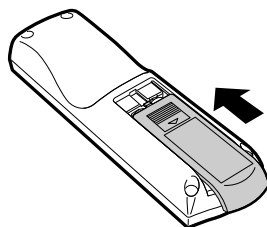


2 付属の乾電池を入れる

・ プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れて下さい。



3 カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める



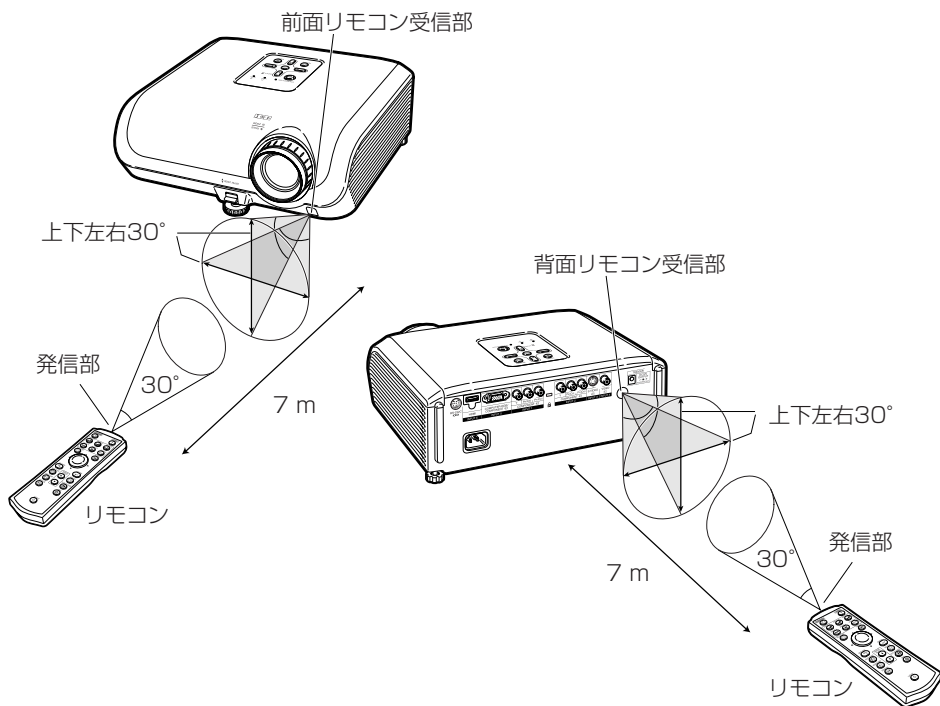
乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

注意

- 乾電池の⊕極と⊖極は、表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときや乾電池を使い切ったときは、液がもれて故障の原因となる恐れもありますので、リモコンから乾電池を取り出して置いてください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。



メモ

- ・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

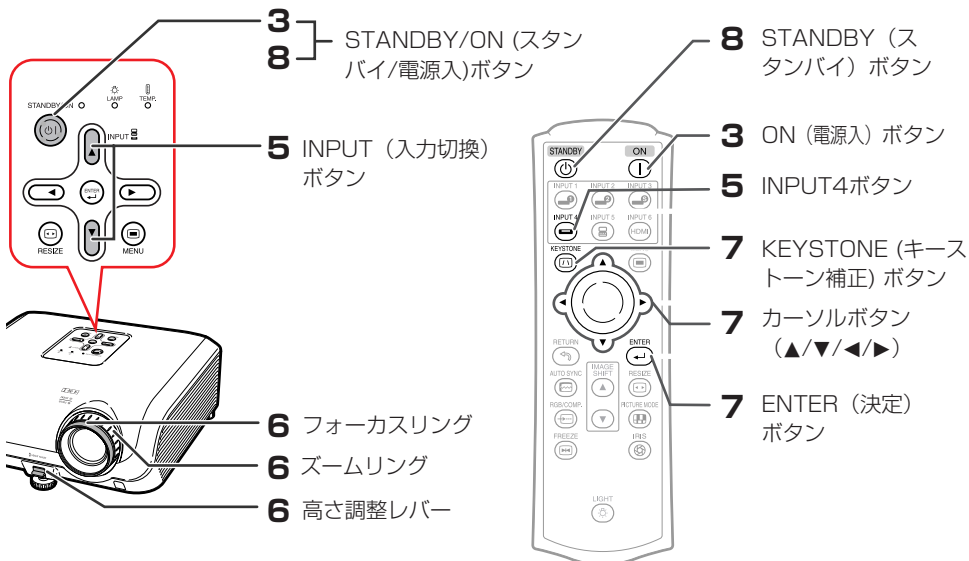
- ・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- ・蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

基本的な使いかた

このページでは、本機の基本的な使いかた（ビデオ機器を接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

ここでは、本機とビデオ機器の接続を例に説明します。

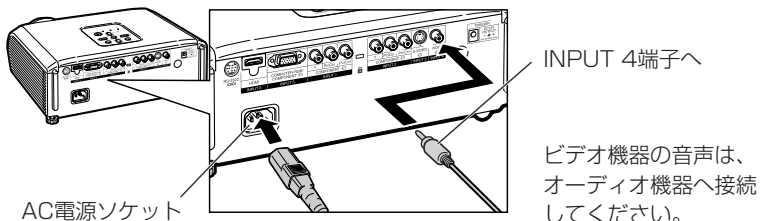


1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く

➡20ページ

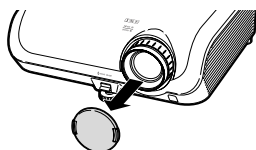
2. 電源コードおよびビデオ機器を接続する

➡24-30ページ



3. レンズキャップを外し、電源を入れる

➡30ページ



本体



リモコン

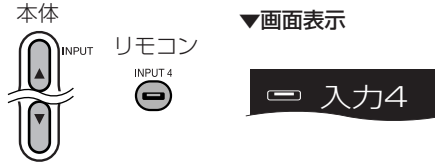


4. ビデオ機器の電源を入れ、再生する

5. 入力モードを選ぶ

➡31ページ

INPUT (入力切換) ボタンで「入力4」を選ぶ

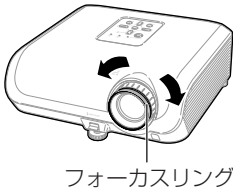


- ・本体の▲または▼INPUTボタンを押すと、**入力1↔入力2↔入力3↔入力4↔入力5↔入力6**の順番で切り換わります。
- ・リモコンのINPUT (入力切換) ボタンを押して入力を選ぶこともできます。

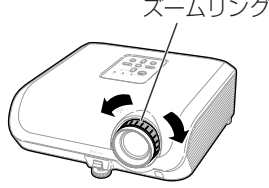
6. ピント、サイズ、投映角度を調整する

➡32, 33ページ

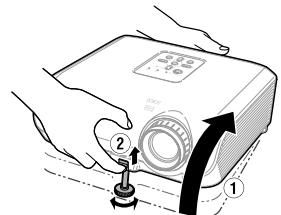
- 1.フォーカスリングをまわして、ピントを合わせる。



- 2.ズームリングをまわして、投映映像の大きさを調整する。



- 3.高さ調整レバーで投映角度を調整する。



7. 台形歪みを調整する(4点補正)

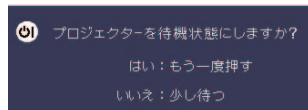
➡34-37ページ

- 1.リモコンの◎KEYSTONEを押す
- 2.リモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映画面の左上の位置を指定する
- 3.リモコンの⊙ENTERを押して位置を確定する
- 4.手順2, 3を行い、投映画面の右上、右下、左下の位置も指定する
 - ・左下の位置を確定すると、画面の補正が行われ、終了します。

8. 電源を切るときは

➡31ページ

本体のSTANDBY/ON (スタンバイ/電源入) ボタン、または、リモコンのSTANDBY (スタンバイ) ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す



- ・冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を設置する

本機の設置のしかた

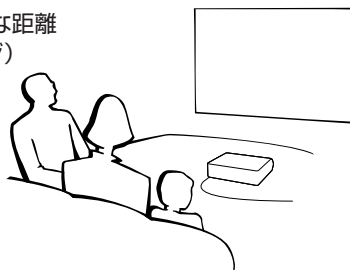
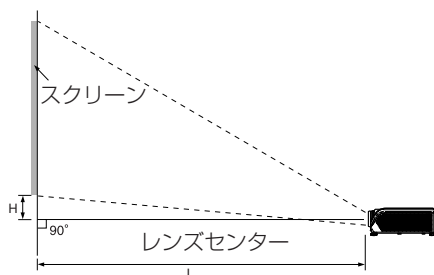
プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で投映すると台形補正の必要がなく、最良の映像が得られます。

基本的な設置(前面からの投映)

- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（22ページ）

基本設置例

横から見たとき

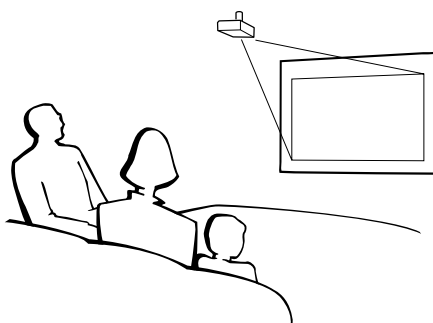


メモ

- ・詳しくは、画面（スクリーン）サイズと投映距離をご覧ください。（22ページ）

天井取り付けによる投映

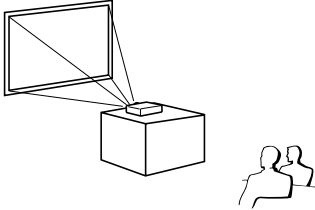
- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。別売の天吊り用取り付けアダプター「AN-60KT」の取り付けは、天吊り用取り付けアダプターに付属されている説明書をご覧ください。
- 「オプション2」メニューの「投映方式」で「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。（51ページ）



投映方式

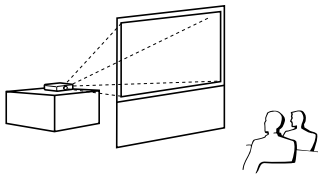
本機は、下図の4通りの投映方式が可能です。設定場所に応じた投映方式を選択してください。
 (投映方式の設定は「オプション2」メニューの「投映方式」で行うことができます。51ページをご覧ください。)

■ 床置き前方投映



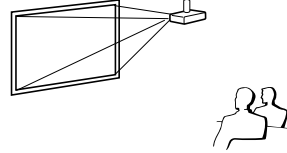
メニュー項目→「フロント」

■ 床置き後方投映(透過スクリーン使用)



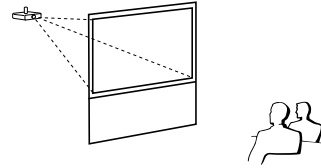
メニュー項目→「リア」

■ 天吊り前方投映



メニュー項目→「天吊り」

■ 天吊り後方投映(透過スクリーン使用)



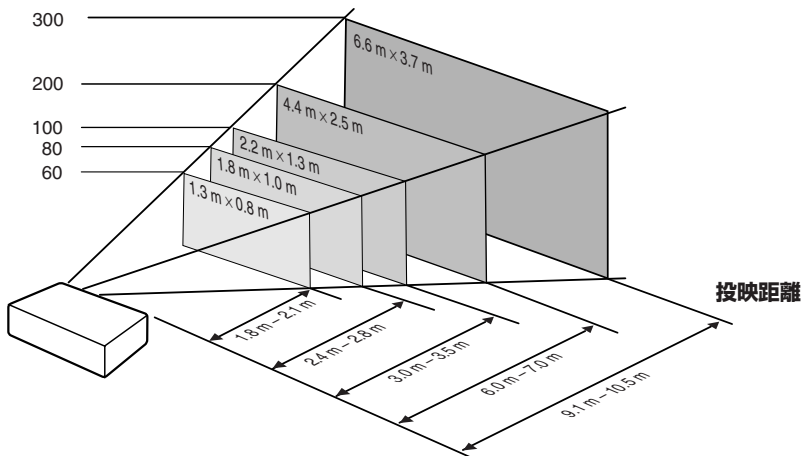
メニュー項目→「天吊り+リア」

投映画像の大きさと設置距離のめやす

詳細については、22ページの「画面(スクリーン)サイズと投映距離」をご覧ください。

例: 16:9ワイドスクリーン使用時

画面(スクリーン)サイズ(型)



本機を設置する(つづき)

画面(スクリーン)サイズと投映距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投映画面サイズが異なります。下表を参考に、スクリーンに映像が最適な大きさと投映されるように設置してください。値は設置のめやすにしてください。

16:9ワイドスクリーン使用時(16:9映像を16:9ワイドスクリーンに投映した場合)

画面(スクリーン)サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)	画面シフト可動量(S)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	最短(L1)	最長(L2)		
300"	6.64	3.74	9.1 m	10.5 m	-53 cm	±12.5 cm
270"	5.98	3.36	8.2 m	9.4 m	-48 cm	±11.2 cm
250"	5.53	3.11	7.5 m	8.7 m	-45 cm	±10.4 cm
200"	4.43	2.49	6.0 m	7.0 m	-36 cm	±8.3 cm
150"	3.32	1.87	4.5 m	5.2 m	-27 cm	±6.2 cm
100"	2.21	1.25	3.0 m	3.5 m	-18 cm	±4.2 cm
80"	1.77	1.00	2.4 m	2.8 m	-14 cm	±3.3 cm
70"	1.55	0.87	2.1 m	2.4 m	-12 cm	±2.9 cm
60"	1.33	0.75	1.8 m	2.1 m	-11 cm	±2.5 cm
40"	0.89	0.50	1.2 m	1.4 m	-7 cm	±1.7 cm

χ: 画面(スクリーン)サイズ(型)

L: 投映距離(m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

S: 画面シフトの可動量(cm) 49ページ参照

画面サイズと投映距離の近似式

$L1 = 0.03019\chi$

$L2 = 0.03493\chi$

$H = -0.17808\chi$

$S = \pm 0.04151\chi$

4:3標準スクリーン使用時(4:3映像を4:3標準スクリーンに投映した場合)

(「標準」モード)

画面(スクリーン)サイズ			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)	画面シフト可動量(S)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	最短(L1)	最長(L2)		
300"	6.10	4.57	11.1 m	12.8 m	-65 cm	±15.2 cm
270"	5.49	4.11	10.0 m	11.5 m	-59 cm	±13.7 cm
250"	5.08	3.81	9.2 m	10.7 m	-54 cm	±12.7 cm
200"	4.06	3.05	7.4 m	8.6 m	-44 cm	±10.2 cm
150"	3.05	2.29	5.5 m	6.4 m	-33 cm	±7.6 cm
100"	2.03	1.52	3.7 m	4.3 m	-22 cm	±5.1 cm
80"	1.63	1.22	3.0 m	3.4 m	-17 cm	±4.1 cm
70"	1.42	1.07	2.6 m	3.0 m	-15 cm	±3.6 cm
60"	1.22	0.91	2.2 m	2.6 m	-13 cm	±3.0 cm
40"	0.81	0.61	1.5 m	1.7 m	-9 cm	±2.0 cm

χ: 画面(スクリーン)サイズ(型)

L: 投映距離(m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

S: 画面シフトの可動量(cm) 49ページ参照

画面サイズと投映距離の近似式

$L1 = 0.03694\chi$

$L2 = 0.04275\chi$

$H = -0.21794\chi$

$S = \pm 0.0508\chi$

4:3標準スクリーン使用時 (16:9映像を横幅いっぱいには4:3標準スクリーンに投射した場合)

画面 (スクリーン) サイズ			投射距離 (L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)	画面シフト可動量 (S)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	最短 (L1)	最長 (L2)		
300"	6.10	4.57	8.3 m	9.6 m	-49 cm	±11.4 cm
270"	5.49	4.11	7.5 m	8.7 m	-44 cm	±10.3 cm
250"	5.08	3.81	6.9 m	8.0 m	-41 cm	±9.5 cm
200"	4.06	3.05	5.5 m	6.4 m	-33 cm	±7.6 cm
150"	3.05	2.29	4.2 m	4.8 m	-25 cm	±5.7 cm
100"	2.03	1.52	2.8 m	3.2 m	-16 cm	±3.8 cm
80"	1.63	1.22	2.2 m	2.6 m	-13 cm	±3.0 cm
70"	1.42	1.07	1.9 m	2.2 m	-11 cm	±2.7 cm
60"	1.22	0.91	1.7 m	1.9 m	-10 cm	±2.3 cm
40"	0.81	0.61	1.1 m	1.3 m	-7 cm	±1.5 cm

χ : 画面 (スクリーン) サイズ (型)

L: 投射距離 (m)

L1: 最短投射距離

L2: 最長投射距離

H: レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)

S: 画面シフトの可動量 (cm) **49**ページ参照

画面サイズと投射距離の近似式

$L1 = 0.02771\chi$

$L2 = 0.03206\chi$

$H = -0.16346\chi$


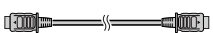





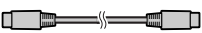

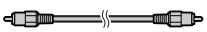

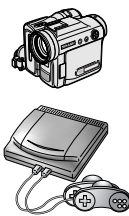


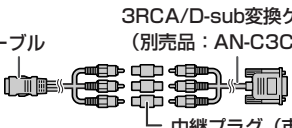

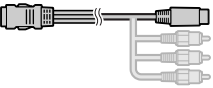

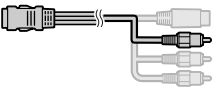


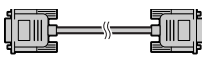

$S = \pm 0.0381\chi$

メモ

- ・ 投射距離(L)とレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)の関係については、**20**ページをご覧ください。
- ・ 表中の寸法は若干の誤差があります。
- ・ 表中に“-” (マイナス記号) がついた値は、レンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

接続する機器と使用するケーブル例

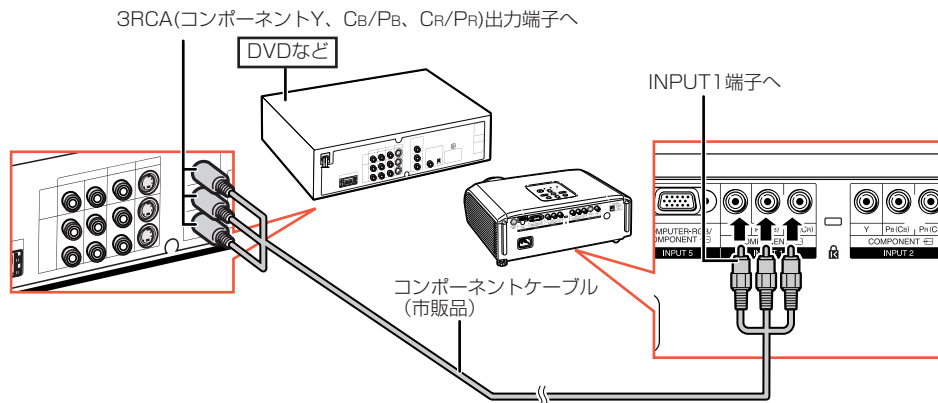
・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	入力信号	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
AV機器 	HDMI 映像	HDMIケーブル（市販品） 	INPUT6 
	コンポー ネント 映像	コンポーネントケーブル（市販品） 	INPUT1または2 
	コンポー ネント 映像	3RCA/D-sub変換ケーブル （別売品：AN-C3CP2） 	INPUT5 
	S映像	S映像ケーブル（市販品） 	INPUT3 
	映像	映像ケーブル（市販品） 	INPUT4 
カメラ、ゲーム機 	コンポー ネント 映像	専用ケーブル 	INPUT1または2 
	コンポー ネント 映像	専用ケーブル 3RCA/D-sub変換ケーブル （別売品：AN-C3CP2） 中継プラグ（市販品） 	INPUT5 
	S映像	専用ケーブル 	INPUT3 
	映像	専用ケーブル 	INPUT4 
コンピュータ 	RGB 映像	RGBケーブル（市販品） 	INPUT5 

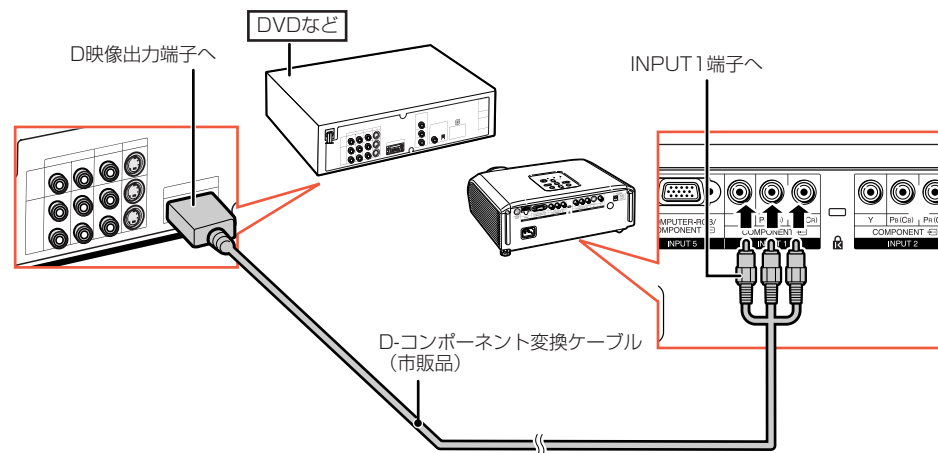
ビデオ機器を接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

コンポーネント映像出力端子付き機器と本機のコンポーネント端子を接続する場合 (INPUT1または2)

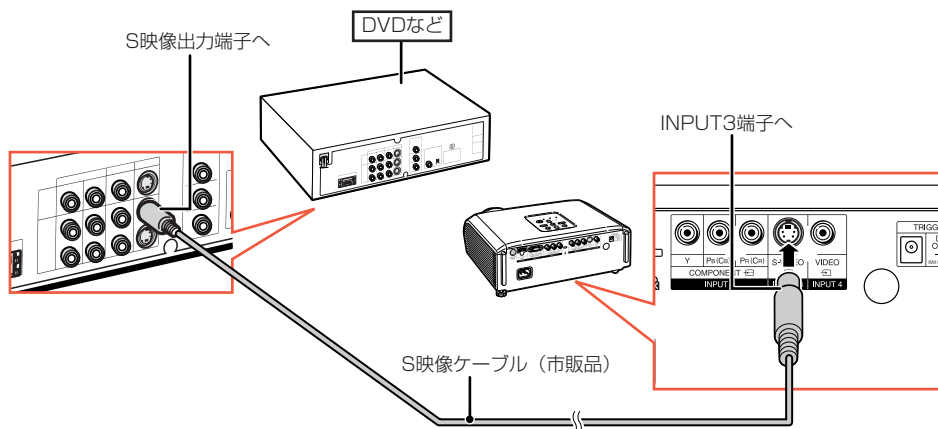


D映像出力端子付き機器と本機のコンポーネント端子を接続する場合 (INPUT1または2)

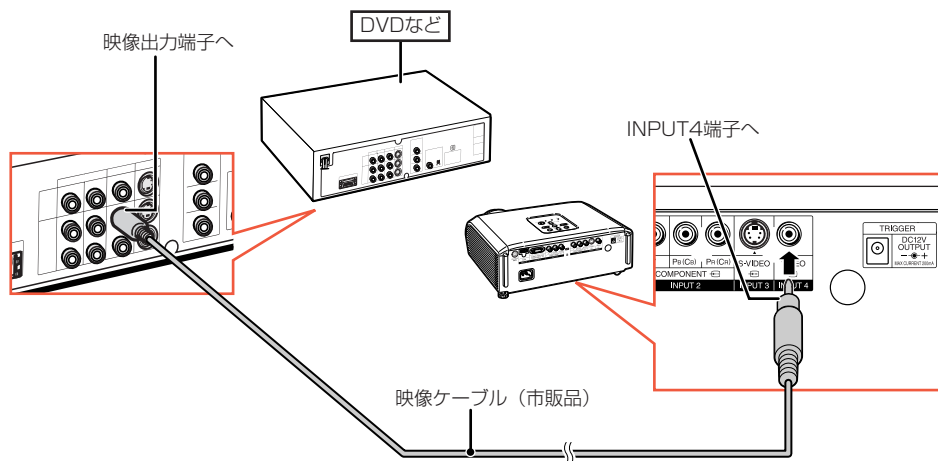


ビデオ機器を接続する (つづき)

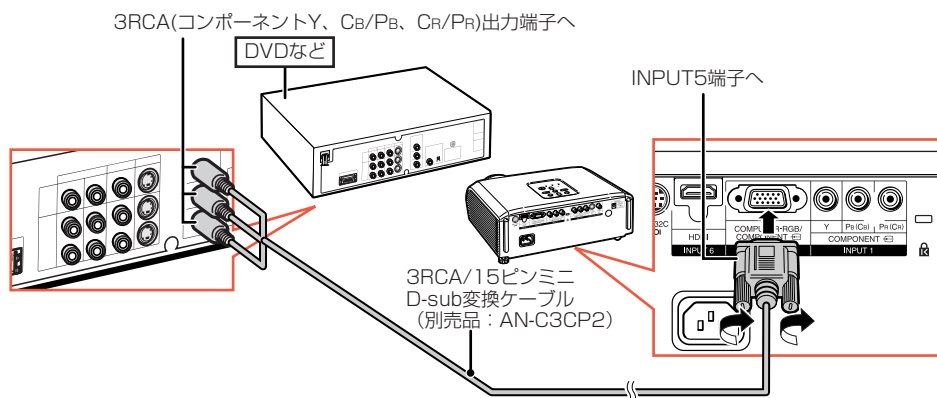
S映像出力端子付き機器と接続する場合 (INPUT3)



映像出力端子付き機器と接続する場合 (INPUT4)



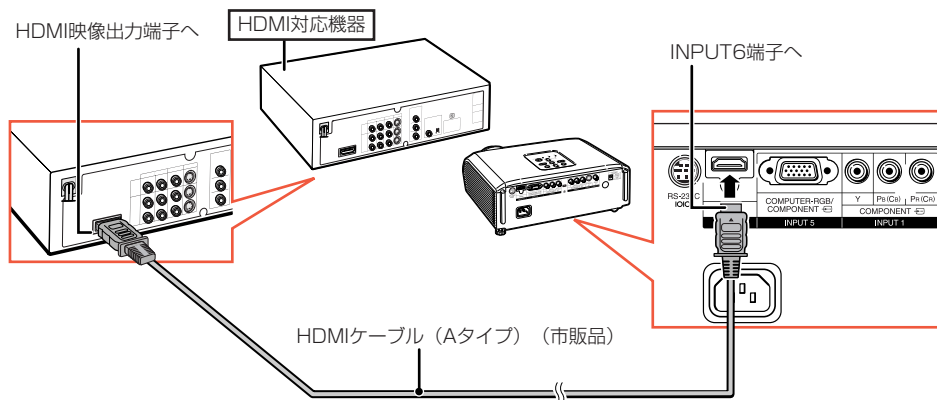
コンポーネント映像出力端子付き機器と本機のコンピュータ-RGB/コンポーネント端子を接続する場合 (INPUT5)



HDMI映像出力端子付き機器と接続する場合 (INPUT6)

HDMI端子は、映像と音声記号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。本機は、音声は対応していないので、音声はAVアンプ等を使用してください。

接続には、HDMI規格に適合したケーブルをご使用ください。HDMI規格に適合していないケーブルを使用した場合は、正常に動作しないことがあります。



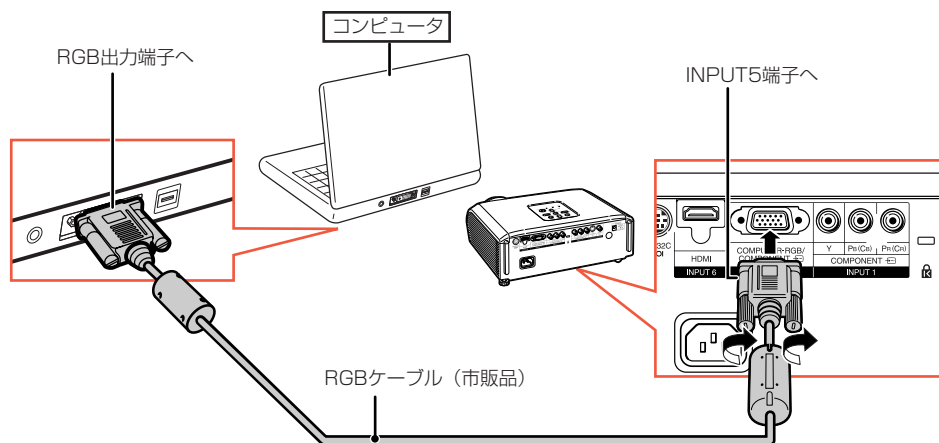
メモ

- ・ HDMI(High Definition Multimedia Interface)は、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。
- ・ 著作権保護技術(High-bandwidth Digital Content Protection system)に対応しているため、デジタルビデオ信号をデジタルのまま劣化させることなく伝送するので、高品質な画質をシンプルな接続で楽しむことができます。
- ・ DVI-HDMI変換ケーブルでHDMI端子に接続する場合は、正常な画面が表示できないことがあります。

コンピュータを接続する

コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。



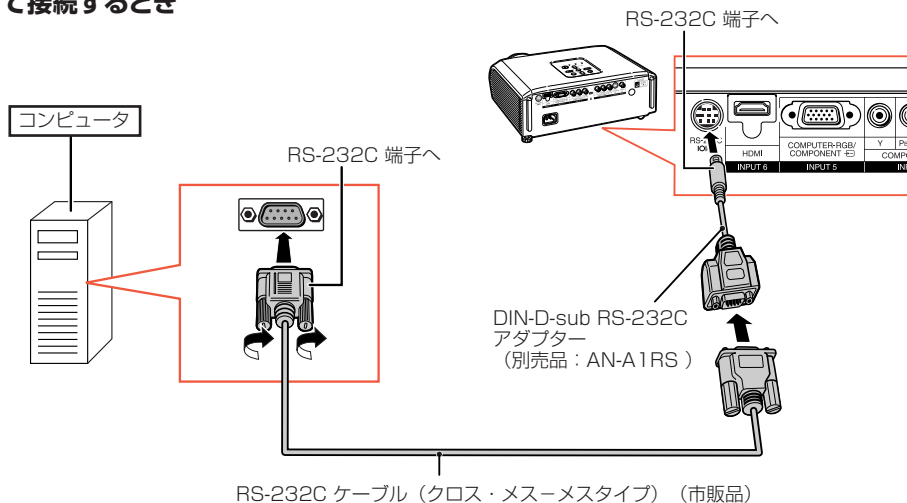
メモ

- ・対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号(推奨信号)について」(61ページ)をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- ・Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(64ページ)へお問い合わせください。
- ・お使いのコンピュータによっては、外部出力ポートを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型コンピュータでは、FnキーとF5キーを同時に押すと外部出力ポートが有効になります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

プロジェクターをコンピュータで制御する

プロジェクターのRS-232C 端子とコンピュータのシリアル (RS-232C) ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。詳しくは60ページをご覧ください。

コンピュータをRS-232C ケーブルとDIN-D-sub RS-232C アダプターを使って接続するとき



メモ

- ・ RS-232C 端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ・ RS-232C の仕様とコマンドについては、60ページをご覧ください。

お知らせ

- ・ コンピュータ側のシリアル (RS-232C) ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- ・ コンピュータの電源が入っているときにRS-232C ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

電源の入れかた/切りかた

電源コードを接続する

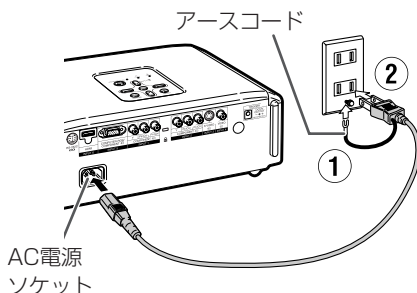
プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- ・電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- ・アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード



電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続・電源コードの接続を済ませておいてください。
(25～30ページ)

レンズキャップを外し、本体の

- ① **STANDBY/ON**またはリモコンの
- ① **ON**を押す

メモ

・ランプ表示について

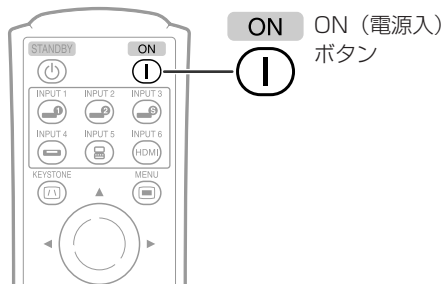
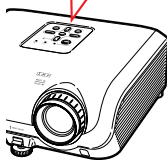
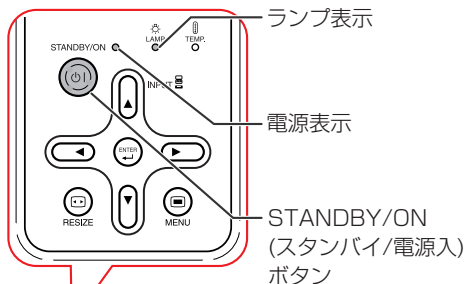
動作状況を以下のようにお知らせします。

緑色点灯: ランプ点灯中

緑色点滅: ランプ起動中/終了中

赤色点灯: ランプが正常に起動しない(点灯しない)/ランプ交換

- ・電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- ・プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ(光源)が起動するまで多少時間がかかる場合があります。



電源を切る(待機状態にする)とき

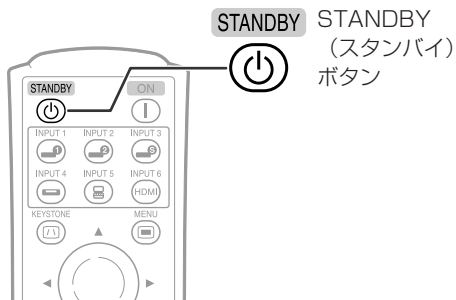
1 本体の **STANDBY/ON** またはリモコンの **STANDBY** を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

2 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

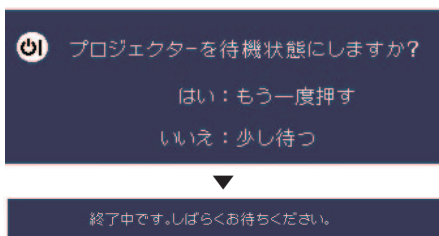
- ・冷却中は、本体の電源表示が緑色に点滅します。
- ・冷却が終了すると電源表示が赤色点灯に変わります。

お知らせ

- ・投映中および冷却ファンの動作中は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。



▼画面表示 (確認画面)



投映のしかた

入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

リモコンのINPUT (入力切換) ボタンを押し、入力を選ぶ

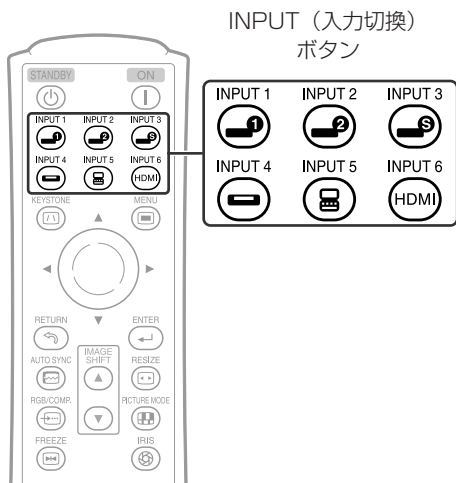
・本体のINPUT (入力切換) ボタン(▲または▼)を押すと、

入力1 ↔ 入力2 ↔ 入力3

↑ ↓

入力6 ↔ 入力5 ↔ 入力4

の順番で切り換わります。



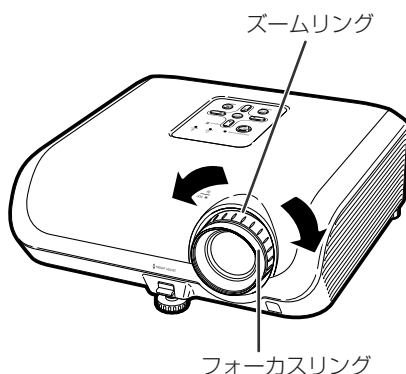
投映のしかた (つづき)

投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

フォーカス (ピント) 調整は本体で行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する



2 投映映像の大きさを調整する

ズーム操作は本体で行います。

ズームリングをまわして拡大/縮小する

3 アジャスターを使って投映角度を調整する

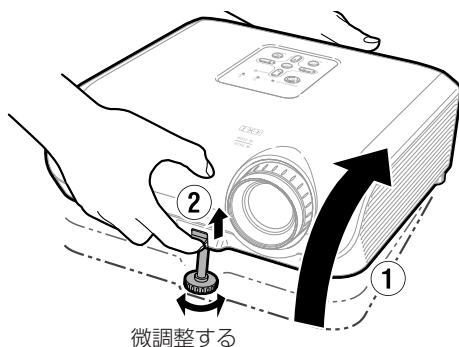
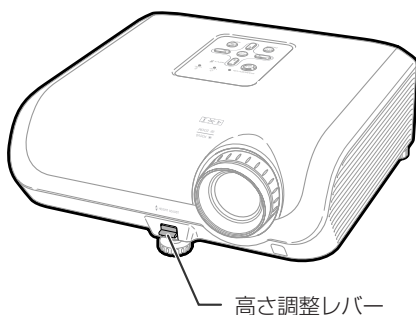
スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。

また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。

1 高さ調整レバーを引き上げたまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整レバーから手を離す

・プロジェクターは水平に置いた状態から約8度まで角度調整することができます。



3 左右の傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

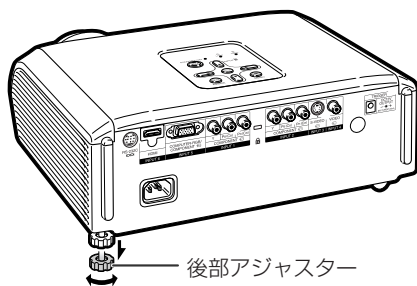
- ・設置位置から±1度補正することができます。

メモ

- ・投射角度を調整すると投射画像が台形に歪みます。補正する場合はキーストーン補正機能を行います。詳しくは34ページをご覧ください。

お知らせ

- ・アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
- ・プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。
- ・プロジェクターはしっかり持ってお取り扱いください。
- ・レンズ部を持たないでください。



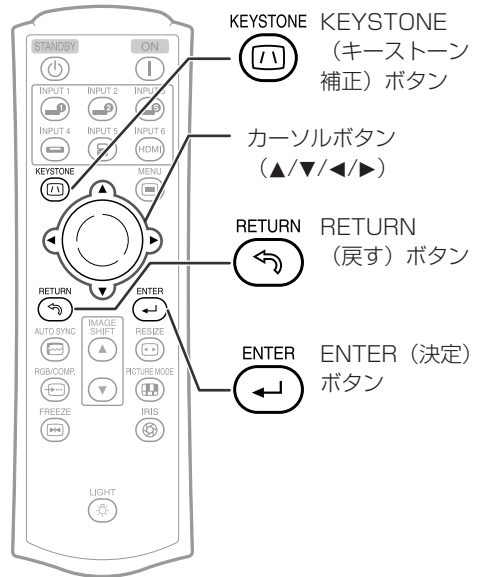
投映のしかた (つづき)

画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)

映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

キーストーン補正には2つの方法があります。

- 1) 画面上の4点を指定して台形歪みを補正する「4点補正」方式
- 2) 2軸 (水平/垂直) の補正量を数値指定する「H&Vキーストーン」方式



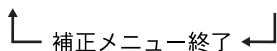
補正の方法を選択する

キーストーン補正する方法を選択します。

リモコンのⓂKEYSTONEを押す

- ・「4点補正」画面が表示されます。
- ・ⓂKEYSTONE を押すたびに、以下の順番で切り換わります。

「4点補正」→「H&Vキーストーン」



4点補正	画面の4点を指定し、歪みを補正する機能です。 (36ページ)
H&Vキーストーン	H：水平方向の歪みを補正します。 V：垂直方向の歪みを補正します。 (37ページ)

メモ

- ・キーストーン補正で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
- ・キーストーン補正は、信号をデジタル補正して投映するため、画像の解像度が若干落ちます。また、細かい映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- ・キーストーン補正をしても、補正しきれない場合は、本機の設置位置を変えるなどしてください。
- ・キーストーン補正を行うと、投映画像の直線や映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。
- ・39ページの「著作権について」にもご注意ください。

投映のしかた (つづき)

4点補正を行うとき

お知らせ

・縦横比4:3の信号を4:3スクリーンに合わせる場合は、画面サイズ(RESIZE)をスクイーズ(16:9)にしてから調整してください。

1 「4点補正」画面が表示されるまで、リモコンのⓂKEYSTONEを繰り返し押す

2 スクリーンの縁が青色の領域に重なるようにピント、サイズ、投映角度を調整する。

・できるだけスクリーンの縁が青色の領域一杯になるように合わせてください。

3 リモコンの▲/▼/◀/▶を押して、投映したい画面の左上の位置を調整する

・画面に出る赤色の矢印表示がスクリーンの左上に合うように調整してください。

4 ◀ENTERを押して位置を確定する

・右上の矢印が赤色に変わります。

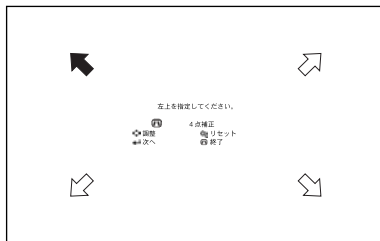
5 同じ手順で、投映したい画面の右上、右下、左下の位置も調整する

・このとき◀RETURNを押すと、1つ前の画面に戻ります。

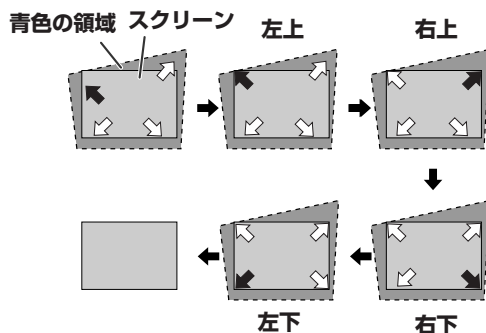
・左上を調整する前に◀RETURNを押すと、リセット確認画面が表示されます。

・左下の位置を確定すると画面の補正が行われ、「4点補正」モードが終了します。

▼画面表示



4点補正



メモ

- ・本体とスクリーンの設置状態によっては、映像の縦横比が少しずれる場合があります。
- ・4点補正で合わない場合は、H&Vキーストーン補正で調整してください。

H&Vキーストーンを行うとき

1 映像を投映し、ピント、サイズ、投映角度を調整する

2 「H&Vキーストーン」画面が表示されるまで、リモコンのⓂKEYSTONEを繰り返し押す

・「4点補正」モードで補正済みの場合は、「H&Vキーストーン」に入る前に、リセットするかどうかの確認画面が表示されますので、リセットしてください。

3 リモコンの▲/▼を押して、投映画面の左右の辺が平行になるように調整する

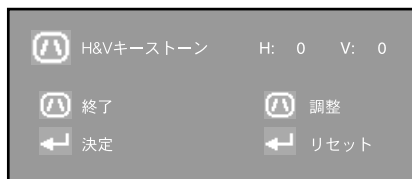
4 リモコンの◀/▶を押して投映画面の上下の辺が平行になるように調整する

5 リモコンのⓂKEYSTONEまたはⓂENTERを押して「H&Vキーストーン」モードを終了する

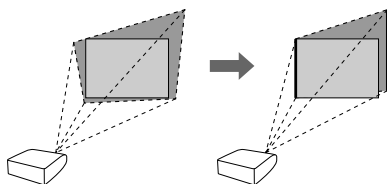
メモ

- ・ HキーストーンとVキーストーンを同時に調整すると、映像の縦横比が少しずれる場合があります。
- ・ 水平方向と垂直方向の両方を補正したときは、それぞれの補正可動範囲が狭くなります。
(例) Hキーストーンを最大にしたときは、Vキーストーンは可変幅が減少になります。

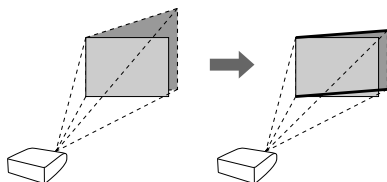
▼画面表示



V (縦) キーストーン (▲/▼で調整)



H (横) キーストーン (◀/▶で調整)

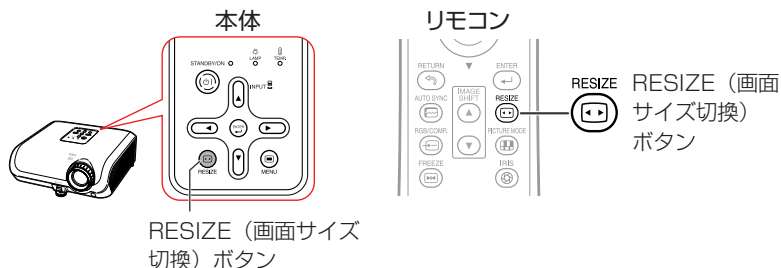


投映のしかた (つづき)

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モード(「スクイーズ」・「標準」・「ズーム」・「ドットバイドット(コンピュータ入力のみ)」)を切り換えることができます。38、39ページの表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

本体の **RESIZE** またはリモコンの **RESIZE** を押す




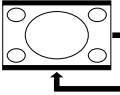
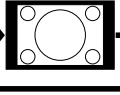
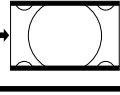
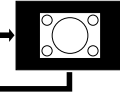

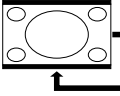
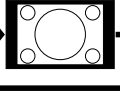
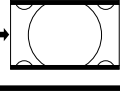
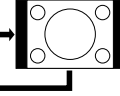

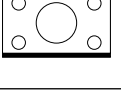
ビデオ

- ・ 750Pまたは1125iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
DVD/ビデオ	画像タイプ	スクイーズ	標準	ズーム
525i, 525P, 625i, 625P, NTSC, PAL, SECAM	 縦横比4:3			
	 レターボックス			
	 スクイーズ			
	 縦横比16:9の画像			
750P, 1125i	 縦横比16:9の画像		—	—

■ : マスクされ映像がない部分

コンピュータ

入力信号		表示イメージ			
コンピュータ	画像タイプ	スクイーズ	標準	ズーム	ドットバイドット
XGAより解像度が低い	 縦横比4:3				
XGA (1024×768)	 縦横比4:3				
1280×720	 縦横比16:9		—	—	—

■ : マスクされ映像がない部分



メモ

- ・VGA、SVGAの垂直周波数が60Hz以下の信号のときは「ズーム」モードを選択することができますが、VGA、SVGAのそれ以外の信号では「ズーム」モードはスキップされます。

本機に入力される信号と表示について

DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数を表示しますので、つぎのようになります。

入力信号	本機の表示
525i	480i
525P	480P
625i	576i
625P	576P
750P	720P
1125i	1080i

著作権について

- ・本機のRESIZE（画面サイズ切換）機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズ（表示イメージ）を選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズ（表示イメージ）を選択してください。
- ・映像を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、RESIZE（画面サイズ切換）機能やキーストーン補正、字幕調整、オーバースキャン調整機能を利用して映像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ワイド映像でない通常（4:3）の映像を、RESIZE（画面サイズ切換）機能を利用して画面いっぱいに表示したり、オーバースキャン調整機能で入力信号と異なる調整をすると、画面周辺部が一部見えなくなったり、変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になる場合は、RESIZE（画面サイズ切換）は「標準」、オーバースキャン調整は初期状態でご覧ください。

リモコンで投映画像を操作する

映像を上下にシフトする (イメージシフト)

映像全体を上下にシフトすることができます。DVDなどの16:9映像を投映するときに便利です。

IMAGE SHIFTの▲を押す

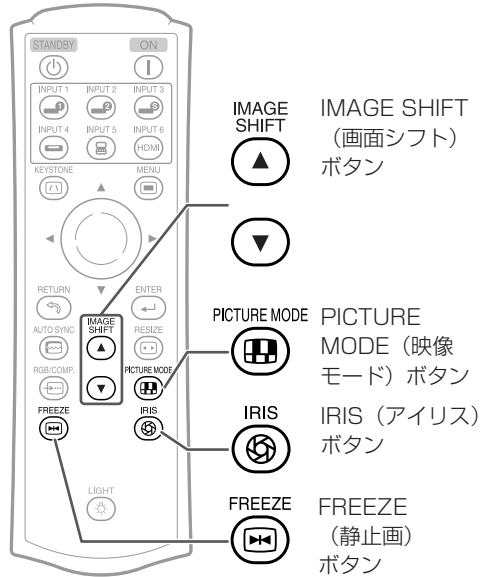
・映像の位置が上がります。

IMAGE SHIFTの▼を押す

・映像の位置下がります。

メモ

- ・イメージシフト機能は、「画面サイズ」が「ドットバイドット」以外の場合に働きます。
- ・イメージシフトについて、詳しくは49ページをご覧ください。

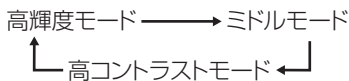


アイリス切換機能を使用する

映像の明るさやコントラストの強さを切り換えることができます。

⑤ IRISを押す

・表示が出ている間に押すと下記の順で切り換わります。



メモ

- ・アイリス切換について、詳しくは47ページをご覧ください。

投映中の画像を静止画にする

1 ④ FREEZEを押す

・投映中の画像が静止画になります。

2 ④ FREEZEを再度押す

・接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

⑩ PICTURE MODEを押す

- ・押すたびに
標準 → ナチュラル → ダイナミック
↑ ↓
メモリー ← シネマ2 ← シネマ1
の順番で切り換わります。

メモ

- ・映像モードについて、詳しくは45ページをご覧ください。

メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

選択している入力や入力信号、設定値によって、設定できる項目が変わります。設定できない項目はグレー色で表示されます。

「映像調整」メニュー

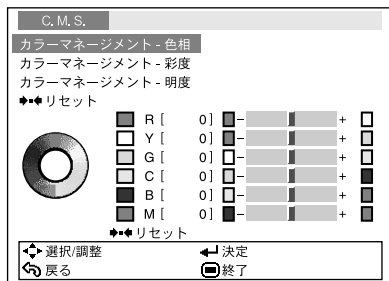
1ページ目



2ページ目



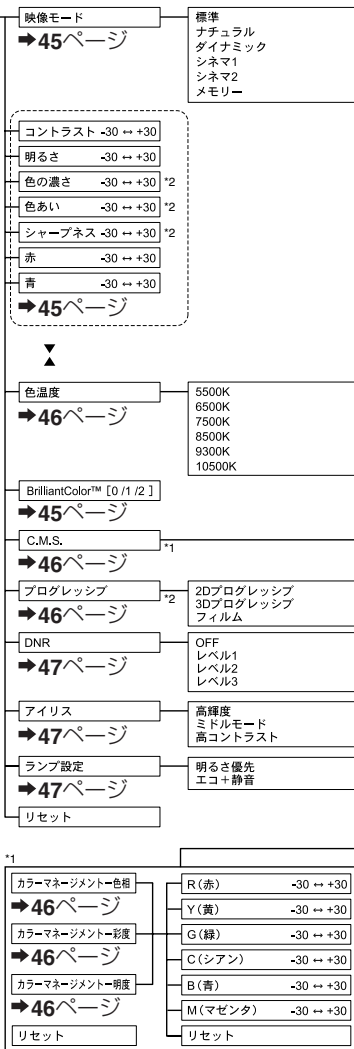
「C.M.S.」



メインメニュー

映像調整
→45ページ

サブメニュー



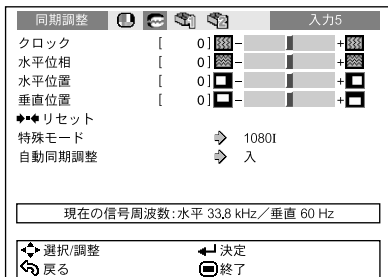
*1 ビデオ信号、S映像信号、コンポーネント525i/576i信号を入力している場合で、プログレッシブモードを「3Dプログレッシブ」または「フィルム」に設定したときは、C.M.S.機能が使用できません。

*2 INPUT5 (入力5) /INPUT6 (入力6) にRGB信号が入力されているときは設定できません。

便利な機能

メニュー内容一覧(つづき)

「同期調整」メニュー



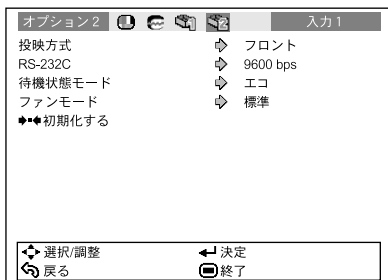
- 「同期調整」メニューはINPUT3 (入力3) / INPUT4 (入力4) では選択できません。

「オプション1」メニュー



- *1 INPUT3 (入力3) /INPUT4 (入力4) を選択しているときに設定できる項目です。
- *2 INPUT5 (入力5) /INPUT6 (入力6) を選択しているときに設定できる項目です。

「オプション2」メニュー



メインメニュー

同期調整
→48ページ

- クロック -150 ↔ +150
→48ページ
- 水平位相 -30 ↔ +30
→48ページ
- 水平位置 -150 ↔ +150
→48ページ
- 垂直位置 -60 ↔ +60
→48ページ
- リセット
- 特殊モード
→48ページ
- 自動同期調整[入/切]
→48ページ
- 現在の信号周波数
→48ページ

サブメニュー

1035i
1080i
入力信号によって変わります。

メインメニュー

オプション1
→49ページ

- 画面シフト -24 ↔ +24
→49ページ
- オーバースキャンH -30 ↔ +30
オーバースキャンV -30 ↔ +30
→49ページ
- 字幕調整 -30 ↔ +30
→49ページ
- 画面表示[入/切]
→50ページ
- 映像信号方式
→50ページ
- 入力信号タイプ
→50ページ
- HDMI設定
→50ページ
- バックグラウンド
→50ページ
- 無信号電源オフ[入/切]
→51ページ
- ランプ時間(標準)
→51ページ

サブメニュー

自動
PAL
SECAM
NTSC 4.43
NTSC 3.58
PAL-M
PAL-N
PAL-60

標準
特殊

ブルーバック
無し

メインメニュー

オプション2
→51ページ

- 投射方式
→51ページ
- RS-232C
→52ページ
- 待機状態モード
→52ページ
- ファンモード
→52ページ
- 初期化する
→52ページ

サブメニュー

フロント
天吊り
リア
天吊り+リア

9600bps
115200bps

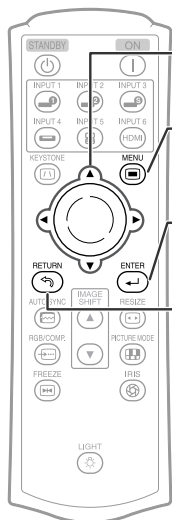
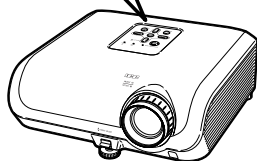
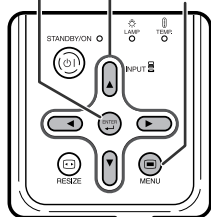
標準
エコ

標準
高

メニュー操作のしかた

ENTER (決定) ボタン

カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)
MENU (メニュー) ボタン



カーソルボタン (▲/▼/◀/▶)
MENU (メニュー) ボタン

ENTER (決定) ボタン

RETURN (戻す) ボタン

・メニュー画面が表示されているとき、RETURNを押すと一つ前の画面に戻ります。

メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき

・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 または◀を押し、調整するメニューアイコンを選ぶ

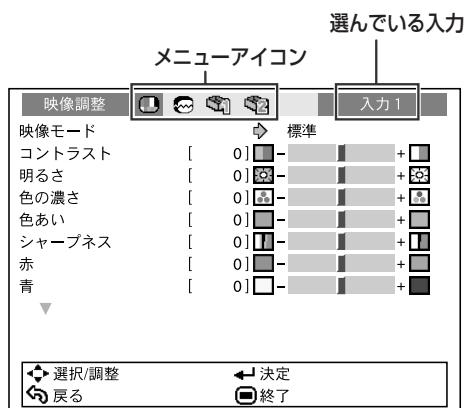
・選ばれたアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション1
	オプション2

メモ

・入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は選択できません。

入力1の「映像調整」メニュー画面例

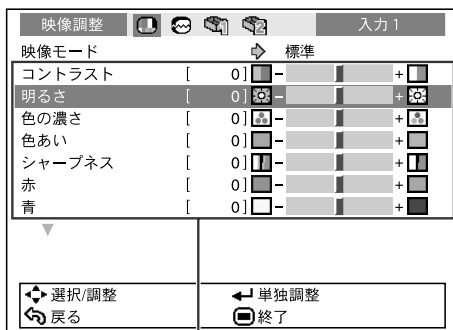


便利な機能

メニュー操作のしかた(つづき)

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- 選ばれた調整項目の色が変わります。



投映している画像を見ながら調整したいとき

⇨ENTERを押します。

- 選んだ項目(例:「明るさ」など)が画面下へ単独表示されます。
- この表示の状態では▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「色の濃さ」)が表示されます。



<単独表示>



メモ

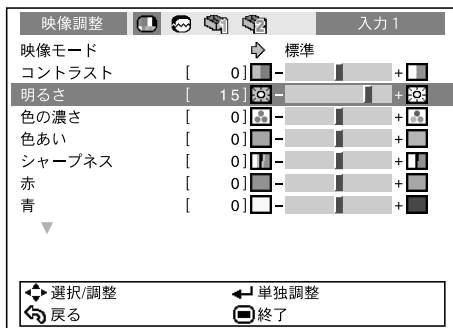
- 再度⇨ENTERを押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。

5 ◻MENUを押す

- メニュー画面が消えます。



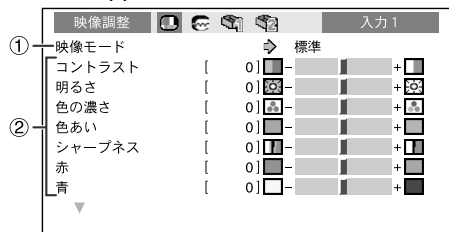
メモ

- 自動同期調整中、フリーズ中は、◻MENUボタンが動きません。

投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)

操作方法⇒43ページ参照

▶ 1ページ目



▶ 2ページ目



① 映像モードを選ぶ

部屋の明るさや投映する映像に合わせて映像モードを選ぶことができます。

選択項目	内容	映像モードを選んだときの初期設定内容			
		色温度	BrilliantColor™	アイリス	ランプ設定
標準	標準の設定です。	7500K	0	高輝度	明るさ優先
ナチュラル	落ち着いた画質になります。	7500K	0	高輝度	明るさ優先
ダイナミック	メリハリのある画質になります。	7500K	2	高輝度	明るさ優先
シネマ1	画面の暗い部分の階調表現を強調して豊かにします。	6500K	0	高輝度	エコ+静音
シネマ2	ギラつきをおさえて落ちついたトーンになります。	6500K	0	ミドルモード	エコ+静音
メモリー	お好みの映像調整値を記憶できます。ここで記憶された調整値は、各入力モード共通に働きます。	7500K	0	高輝度	明るさ優先

・映像調整メニュー内の各項目は、お好みに応じた組み合わせに変更できます。変更した内容はそのまま記憶されます。



メモ ・リモコンの@PICTURE MODE (映像モード) ボタンでも選択できます。(40ページ)

② お好みの映像に調整する

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くします	映像の明部と暗部の差を強くします
明るさ	画像を暗くします	画像を明るくします
色の濃さ*1	色をうすくします	色を濃くします
色あい*1	紫がかった色あいにします	緑がかった色あいにします
シャープネス*1	画像の輪郭をやわらかくします	画像の輪郭をくっきりさせます
赤	赤みを弱くします	赤みを強くします
青	青みを弱くします	青みを強くします
BrilliantColor™*2	効果を弱くします	効果を強くします

*1 RGB入力のあるときは調整できません。

*2 BrilliantColor™は、米国テキサスインスツルメンツ社のBrilliantColor™テクノロジーを使用しており、設定値を大きくすることにより、色再現性を保ちながら高輝度な映像を表現します。



メモ ・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び◎ENTERを押します。選択している入力の映像モード設定が工場出荷時の状態に戻ります。

便利な機能

投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)(つづき)

操作方法⇒43ページ参照

③ 色味を変える (色温度設定)

選択項目	内容
5500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき) ↑↓ 青みがかった映像になります。 (すっきりした感じの色にしたいとき)
6500K	
7500K	
8500K	
9300K	
10500K	



メモ

・「色温度」の設定項目はおおよその数値です。

④ 色を調整する (C. M. S.)

映像調整メニューの「C.M.S.」(カラーマネジメント)を選び、**ENTER**を押す。色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相・彩度・明度を変化させます。

選択項目	内容
色相	系統色の色相を設定する
彩度	系統色の彩度を設定する
明度	系統色の明るさを設定する
リセット	「色相」、「彩度」、「明度」のすべての色の設定が工場出荷の状態にリセットされます。

色相・彩度・明度の調整のしかた

- ▲/▼を押し、「色相」「彩度」「明度」のいずれかを選択し、**ENTER**を押す
- ▲/▼で系統色を選び、◀/▶で調整する

「色相」調整時の例

系統色	◀ボタン	▶ボタン
R (赤)	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y (黄)	赤に近づく	緑に近づく
G (緑)	黄に近づく	シアンに近づく
C (シアン)	緑に近づく	青に近づく
B (青)	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M (マゼンタ)	青に近づく	赤に近づく

- ・「彩度」の場合、選んだ色を
◀: 淡くします。 ▶: 濃くします。
- ・「明度」の場合、選んだ色を
◀: 暗くします。 ▶: 明るくします。
- ・各系統色の調整値を工場出荷時の状態に戻りたいときは、「リセット」を選び **ENTER**を押します。

お知らせ

・ビデオ信号、S映像信号、コンポーネント525i/576i信号を受信したときは、プログレッシブモードを「2Dプログレッシブ」に変更してから調整してください。

⑤ プログレッシブモードを選択する

インターレース映像をくっきりと投映するモードです。

選択項目	内容
2Dプログレッシブ	スポーツなど、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ※映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。



メモ

- ・映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- ・映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- ・プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

お知らせ

・INPUT3(入力3)、INPUT4(入力4)を選択している場合や、INPUT1、2(入力1、2)、INPUT5(入力5)、INPUT6(入力6)、を選択して入力された信号が525i、576iの場合に設定が行えます。

⑥ ドットのちらつきやノイズを軽減する (DNR)

デジタルノイズリダクション (DNR) を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。

選択項目	内容
OFF	DNRを動かせないとき
レベル1~3	映像がもっとも見やすくなるようにDNRのレベルを設定します。

メモ

次のような場合は「OFF」に設定します。

- ・画像がぼやけて見えるとき
- ・動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- ・電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

⑦ アイリス切換機能を使用する

映像の明るさやコントラストの強さを切り換えることができます。

選択項目	内容
高輝度	コントラストより明るさを優先させたモード
ミドルモード	高輝度と高コントラストの中間のモード
高コントラスト	明るさよりコントラストを優先させたモード

メモ

- ・リモコンの◎IRISを使って切り換えることもできます。(40ページ)

⑧ ランプ設定を選択する

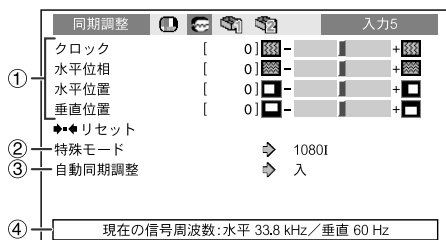
選択項目	明るさ	動作音 (ファン)	消費電力 (AC100V のとき)	ランプ寿命
明るさ優先	100%	標準	355W	約2,000時間
エコ+静音	約87%	低	310W	約3,000時間

メモ

- ・ランプ設定を「エコ+静音」に設定すると、「明るさ優先」に比べて消費電力が低減すると同時に、ランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約13%低減します。)

コンピュータの画面を調整・設定する (同期調整メニュー)

操作方法⇒43ページ参照



② 入力信号に合わせた解像度 を選ぶ (特殊モード設定)

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

① 縦縞模様やチラツキを軽減する (同期調整)

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

調整項目	内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します。(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- ・コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を「入」にするか、リモコンの◎AUTO SYNCを使うと、簡単に調整できます。
- ・INPUT6 (入力6) では、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の調整はできません。
- ・それぞれの項目の調整範囲は、入力信号により変わることがあります。
- ・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び◎ENTERを押します。

メモ

- ・コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなります。)
- ・現在選択されている入力信号の情報は、④の項目で確認できます。

③ コンピュータの画面を自動調整する (自動同期調整機能)

選択項目	内容
入	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
切	自動的に同期調整を行いません。

メモ

- ・自動同期調整はリモコンの◎AUTO SYNCを使って行うこともできます。
- ・自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- ・自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整を行ってください。

④ 入力信号の情報を確認する

現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

本機を楽しむための設定をする (オプションメニュー)

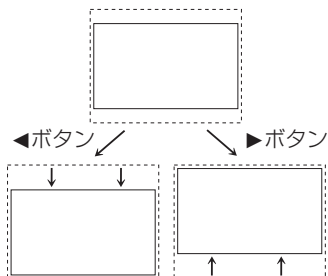
操作方法⇒43ページ参照

オプション1		入力1	
①	画面シフト	[0]	[+]
②	オーバースキャンH	[0]	[+]
②	オーバースキャンV	[0]	[+]
③	字幕調整	[0]	[+]
④	画面表示	◇ 入	
⑤	映像信号方式	◇ 自動	
⑥	入力信号タイプ	◇ 自動	
⑦	HDMI設定	◇ 標準	
⑧	バックグラウンド	◇ ブルーバック	
⑨	無信号電源オフ	◇ 入	
⑩	ランプ時間(残率)	[0]h	(100%)

オプション1画面で設定

① 映像の位置を上下方向に調整する(画面シフト)

投射した映像を上下に移動することができます。



メモ

- ・画面シフト機能は、「画面サイズ」が「ドットバイドット」のときは選択できません。
- ・画面シフト機能は、リモコンのIMAGE SHIFTを使って行うこともできます。

② オーバースキャンの調整をする

オーバースキャン率(表示率)の調整ができます。

方向	◀ボタン	▶ボタン
オーバースキャンH (水平方向)	画面が縮小されます。 (表示率が大きくなります。)	画面が拡大されます。 (表示率が小さくなります。)
オーバースキャンV (垂直方向)		

メモ

- ・ビデオ信号入力、S-ビデオ信号入力、コンポーネント信号入力の際のみ調整ができます。
- ・表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れます。この場合には表示率を小さくしてください。
- ・「画面サイズ」が「ズーム」のときは、入力信号によってはオーバースキャンVが調整できません。
- ・39ページの「著作権について」にもご注意ください。

③ 映像の縦サイズを調整する(字幕調整)

映画など字幕の付いた映像を投射して、字幕がスクリーンからはみ出したときに、映像の縦サイズを調整することで、スクリーンに収めることができます。

◀ボタン	縦方向に圧縮されます。
▶ボタン	縦方向に拡大されます。

メモ

- ・字幕付きの映像を切り換えたとき、映像の下部が上にあがるだけでなく、上部に歪みが生じます。
- ・「字幕調整」と「オーバースキャン調整」・「画面シフト」機能を組み合わせると便利です。
- ・「字幕調整」は「画面サイズ」が「ズーム」のときに働きます。
- ・入力信号によって、調整範囲が異なります。

本機を楽しむための設定をする(オプションメニュー)

(つづき)

操作方法⇒43ページ参照

④ 画面に表示されている情報を表示しないように設定する(画面表示)

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、静止画表示、自動同期調整表示、画面サイズ表示、映像モード表示、アイリス表示は表示されません。

⑤ 映像信号方式を設定する

INPUT3(入力3)/INPUT4(入力4)モードで設定できる機能です。

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

選択項目	内容
PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

⑥ 入力信号タイプを設定する

INPUT5(入力5)/INPUT6(入力6)に接続した入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

選択項目	内容
自動	入力されている信号がR G B 信号かコンポーネント(色差)信号かを自動的に判別します。
RGB入力	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。

メモ

- ・「入力信号タイプ」は、リモコンの◎RGB/COMP.を押しても切り換えできません。(INPUT5(入力5)/INPUT6(入力6)モードでのみ動きます。)

⑦ HDMI設定を選択する

INPUT6(入力6)に接続しているとき、HDMI映像出力機器の出力形式と、本機の入力信号形式が合っていないと、最良な映像が投映されない場合があります。そのようなときにHDMI設定を切り換えます。

選択項目	内容
標準	映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりするときに、映像が最良になる方を選択します。(通常は「標準」の設定でご使用ください。)
特殊	

メモ

- ・HDMI設定はINPUT6(入力6)を選択しているときに設定できる機能です。

⑧ 無信号時に投映する画面を設定する(バックグラウンド)

選択項目	内容
ブルーバック	青い画面
無し	— (黒い画面)

⑨ 無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする（無信号電源オフ機能）

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

メモ

- ・無信号電源オフ機能を「入」に設定したときは、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

⑩ ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率））

ランプの使用時間と残率が表示されます。

ランプ使用条件	ランプ使用可能時間		
	残率表示	100%	5%
常に「ランプ設定」を「エコ+静音」にして使用	約3,000時間	約150時間	約100時間
常に「ランプ設定」を「明るさ優先」にして使用	約2,000時間	約100時間	約100時間

メモ

- ・ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- ・本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

オプション2		入力1
① 投映方式	⇓	フロント
② RS-232C	⇓	9600 bps
③ 待機状態モード	⇓	エコ
④ ファンモード	⇓	標準
⑤ ●●●初期化する		

オプション2画面で設定

① 投映環境に合わせた投映方式を選択する

本機は投映する環境（場所）に合わせて映像を反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

選択項目	内容
フロント	通常映像（スクリーンの正面から投映するとき）
天吊り	上下反転された映像（プロジェクターを逆さまにしてスクリーンの正面から投映するとき）
リア	左右反転された映像（スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき）
天吊り+リア	左右／上下反転された映像（プロジェクターの映像を鏡を使って投映したとき）

- ・投映方式について、21ページも合わせてご覧ください。

本機を楽しむための設定をする(オプションメニュー)

(つづき)

操作方法⇒43ページ参照

② RS-232C の通信速度を設定する (RS-232C 設定)

プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。

選択項目	内容
9600bps	通信速度が遅い
	↑↓
115200bps	通信速度が速い

③ 電源が待機状態時の消費電力をおさえる

待機状態モードが「標準」に設定されていると、電源が待機状態でもRS-232C機能が働き、電力を消費します。RS-232Cを使用していないときは「エコ」に設定することをおすすめします。電源が待機状態のときの消費電力を減らすことができます。

選択項目	内容
標準	電源が待機状態時でも、RS-232C機能が働きます。
エコ	電源が待機状態時には、RS-232C機能をオフにします。

メモ

- ・RS-232Cで本機を制御する場合には、「標準」に設定してください。

④ ファンモードを設定する

ファンの回転速度を設定します。

選択項目	内容
標準	標準的な環境に適しています。
高	標高約1500m以上でご使用になるときに設定します。

- ・「ファンモード」を「高」に設定したときは、ファンの回転速度が速くなるためファン音が大きくなります。

⑤ 設定値を工場出荷状態に戻す

「初期化する」の機能を使って、設定内容を初期化することができます。

メモ

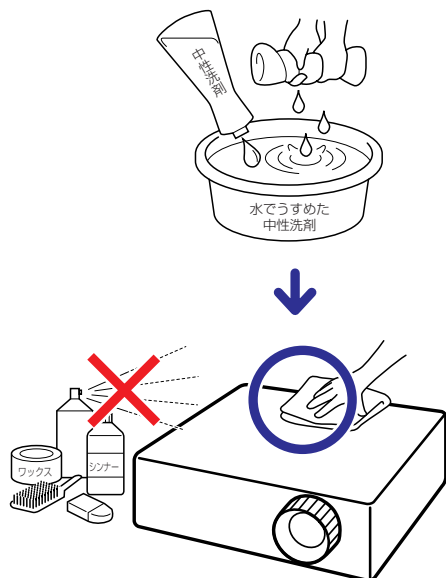
次の項目は初期化されません。

- ・「同期調整」メニュー
- ・特殊モード
- ・「オプション1」メニュー
- ・ランプ時間(残率)

お手入れのしかた

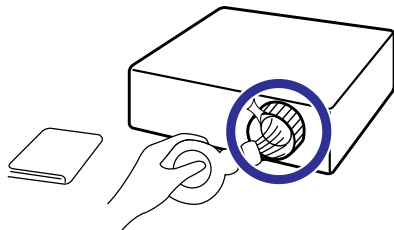
キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
 - キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
 - 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
- プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
 - 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



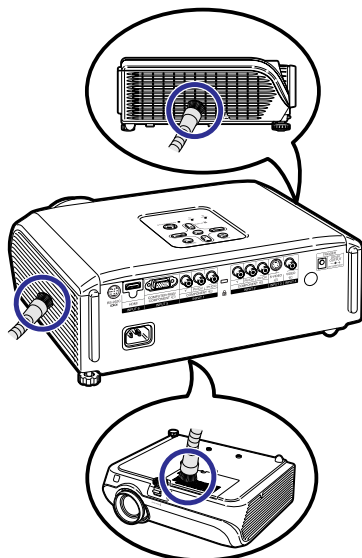
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのですったり、たいたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



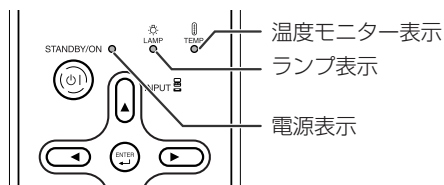
お知らせ

- ・プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体のⓂSTANDBY/ONまたはリモコンのⓂSTANDBYを押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。

お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示（電源表示、ランプ表示、温度モニター表示）が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

本体天面



温度モニター機能について





温度

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「**温度**」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「**温度**」の表示が出た時点で **55** ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について



ランプを交換してください。

- ランプ残率が5%以下になると、「（黄色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「（赤色）」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

本体のランプ表示について

電源表示	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります（ 55 ページ）
	緑色点滅	冷却中です
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中/終了中
	赤色点灯	ランプが正常に起動（点灯）しなかったとき、ランプの交換時期となったときです（ 55 ページ）
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯	内部温度が上昇しています（ 55 ページ）

	お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点灯 (待機状態時)	内部温度が高温 になっている	・通風孔がふさがれている	・正しい設置場所に設置してください。(11ページ)
				・冷却ファンの故障 ・内部回路の故障 ・内部通風孔の目づまり	
ランプ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源 起動中/ 終了中)	赤色点灯 (待機状態時)	ランプが正常に 起動(点灯)し ない	—	・電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。
			ランプ交換時期	・ランプ残率が5%以下になった	・ランプを交換してください。(57ページ) ・ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター(64ページ)にお問い合わせください。 ・ランプを交換するときは、注意して行ってください。 ・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
		赤色点灯 (待機状態時)	ランプ(光源) が点灯しない	・ランプ(光源)が切れた ・ランプ(光源)点灯回路故障	
電源表示	赤/緑色点灯 緑色点滅 (冷却中)	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	・ランプユニットカバーが外れている	・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープ修理相談センター(64ページ)にお問い合わせください。

お知らせ

- ・温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、排気孔や吸気孔がふさがれていないことを確認(11ページ)し、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- ・プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- ・冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
- ・放映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて


- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（54ページ参照）
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコ+静音モード：ランプ残率約67%/明るさ優先モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 別売のランプユニット（形名AN-100LPまたはAN-XR10LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。



ランプ使用上のご注意



- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

警告

- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店に内部の点検を依頼してください。 
- ・当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

警告

ランプ交換時のご注意

- ・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。 
- ・ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。 

ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。

*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

ランプ交換のしかた

警告

- ・本機が動作中、ランプユニットは大変高温になります。ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。



お知らせ

- ・取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ・ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

1 本体の①STANDBY/ONまたはリモコンの②STANDBYを押し、プロジェクターを待機状態にする

- ・冷却ファンが止まるまで待ちます。

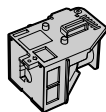
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- ・電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ・ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

3 ランプユニットカバーを取り外す

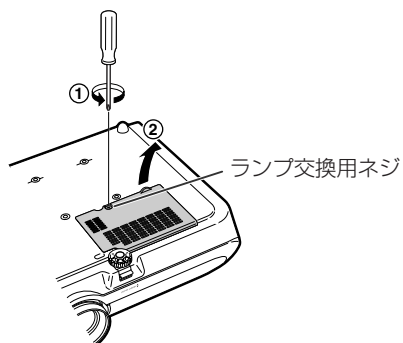
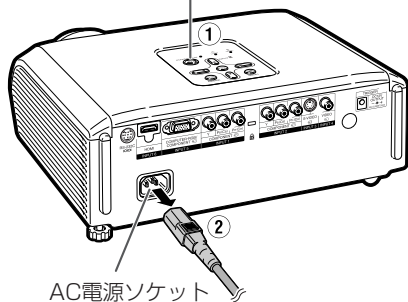
- ・プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します(②)。

別売品



ランプユニット
形名
AN-100LP
または
AN-XR10LP

STANDBY/ON (スタンバイ/
電源入)ボタン



ランプを交換する(つづき)

4 ランプユニットを取り外す

- ・固定ネジをゆるめます。取っ手をつかみ、ランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

5 新しいランプユニットを挿入する

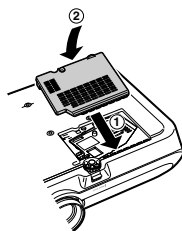
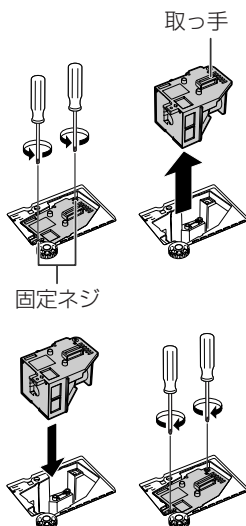
- ・ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめめます。

6 ランプユニットカバーを取り付ける

- ・ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ(①)、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます(②)。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します。

お知らせ

- ・電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

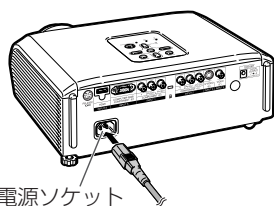


ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

- ・ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外には行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。



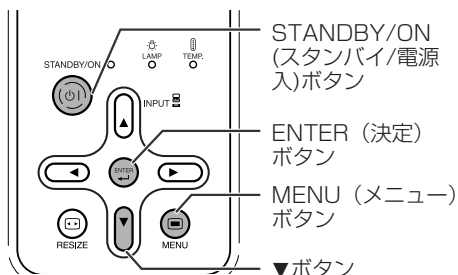
AC電源ソケット

1 電源コードをプロジェクターに接続する

- ・電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

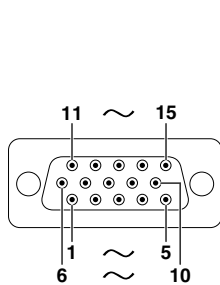
2 ランプ使用時間をリセットする

- ・プロジェクター本体の⊙MENU・⊙ENTER・▼を同時に押しながら、⊙STANDBY/ONを押します。
- ・ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。



本体のコネクターのピン配置

コンピュータRGB/コンポーネント入力5端子:15ピンミニD-subコネクタ(メス)



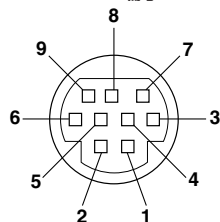
コンピュータRGB入力

1. 映像入力(赤)
2. 映像入力(緑/シンクオングリーン)
3. 映像入力(青)
4. NC
5. NC
6. 接地(赤)
7. 接地(緑/シンクオングリーン)
8. 接地(青)
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント(色差)入力

1. Pr (CR)
2. Y
3. Pb (Cb)
4. NC
5. NC
6. 接地(Pr)
7. 接地(Y)
8. 接地(Pb)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RS-232C端子:9ピンミニDINコネクタ(メス)



ピン番号

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

信号

信号名

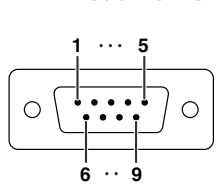
I/O

参考

1. RD 受信データ
2. SD 送信データ
3. NC
4. SG 接地
5. NC
6. RS 送信要求
7. CS 送信可
8. NC
9. NC

1. NC
2. 内部回路に接続
3. 内部回路に接続
4. NC
5. 内部回路に接続
6. NC
7. 内部回路でCSに接続
8. 内部回路でRSに接続
9. NC

DIN-D-sub RS-232Cアダプター別売品(AN-A1RS)の9ピンD-subコネクタ(オス)



ピン番号

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

信号

信号名

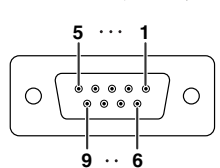
I/O

参考

1. RD 受信データ
2. SD 送信データ
3. NC
4. SG 接地
5. NC
6. RS 送信要求
7. CS 送信可
8. NC
9. NC

1. NC
2. 内部回路に接続
3. 内部回路に接続
4. NC
5. 内部回路に接続
6. NC
7. 内部回路でCSに接続
8. 内部回路でRSに接続
9. NC

RS-232Cケーブルの推奨接続:9ピンD-subコネクタ(メス)



ピン番号

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

信号

1. CD
2. RD
3. SD
4. ER
5. SG
6. DR
7. RS
8. CS
9. CI

ピン番号

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

信号

1. CD
2. RD
3. SD
4. ER
5. SG
6. DR
7. RS
8. CS
9. CI

メモ

・使用するコントロール機器(コンピュータなど)によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

プロジェクターの
ピン番号

- 4
- 5
- 6

コンピュータの
ピン番号

- 4
- 5
- 6

本体のコネクターのピン配置(つづき)

HDMI端子	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
	1	TMDSDデータ2+	7	TMDSDデータ0+	13	CEC
	2	TMDSDデータ2	8	TMDSDデータ0	14	予備
	3	TMDSDデータ2-	9	TMDSDデータ0-	15	SCL
	4	TMDSDデータ1+	10	TMDSDクロック+	16	SDA
	5	TMDSDデータ1 シールド	11	TMDSDクロック シールド	17	DDC/CEC接地
	6	TMDSDデータ1-	12	TMDSDクロック-	18	+5V電源
					19	ホットプラグ検出

RS-232C仕様とコマンドの設定

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、市販品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続については29ページをご覧ください。)

通信条件

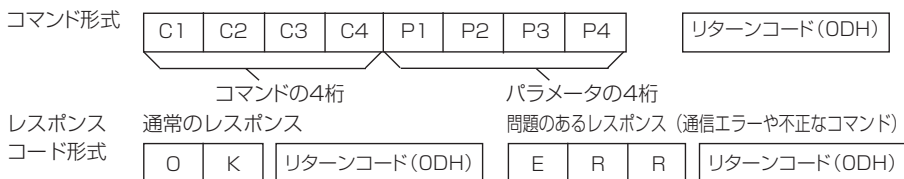
コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式	: RS-232C規格に準拠	パリティビット	: なし
ボーレート	: *9,600 bps / 115,200 bps	ストップビット	: 1ビット
データ長	: 8ビット	フロー制御	: なし

※ボーレートはプロジェクターとコンピュータとで設定を合わせてください。

基本形式

コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。



お知らせ

- ・コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待ってからコマンドを送信してください。
- ・複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターから送られたあとで、次のコマンドを送信してください。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合

コンピュータ	プロジェクター
P O W R _ _ _ 1 ↵	O K ↵

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源 : オフ	P O W R	- - -	0 OK または ERR
電源 : オン	P O W R	- - -	1 OK または ERR
入力1 (ビデオ1 : コンポ-ネント1)	I V E D	- - -	1 OK または ERR
入力2 (ビデオ2 : コンポ-ネント2)	I V E D	- - -	2 OK または ERR
入力3 (ビデオ3 : S映像)	I V E D	- - -	3 OK または ERR
入力4 (ビデオ4 : 映像)	I V E D	- - -	4 OK または ERR
入力5 (RGB1 : RGB / コンポ-ネント)	I R G B	- - -	1 OK または ERR
入力6 (RGB2 : RGB / コンポ-ネント)	I R G B	- - -	2 OK または ERR

メモ

- ・パラメータの列でアンダーバー(_)のところには、スペースを入力します。

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

- ・幅広い信号に対応
水平周波数：15kHz～70kHz
垂直周波数：45Hz～85Hz
ドットクロック：12MHz～85MHz
同期信号：TTLレベルに対応。
- ・シンクオングリーン信号に対応。
- ・拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	HDMIサポート信号	ディスプレイ	
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
			37.5	85	✓		
		640 × 400	27.0	60			
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
	720 × 350	27.0	60				
		31.5	70				
		27.0	60				
	720 × 400	31.5	70				
		37.9	85	✓			
		26.2	50				
		31.5	60	✓			
		34.7	70				
		37.9	72	✓			
	640 × 480	37.5	75	✓			
		43.3	85	✓			
		31.4	50				
		35.1	56	✓			
		37.9	60	✓			
		46.6	70				
	SVGA	800 × 600	48.1	72	✓		
			46.9	75	✓		
			53.7	85	✓		
40.3			50				
48.4			60	✓			
56.5			70	✓			
XGA	1,024 × 768	60.0	75	✓			
		45.0	60				
		47.8	60				
		34.9	67				
—	1,280 × 720	45.0	60				
	1,280 × 768	47.8	60				
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			
MAC 16"	SVGA	800 × 600	37.8	60		拡大表示	
		832 × 624	49.7	75			
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75		リアル表示	







メモ

- ・本機は640×350VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。

DTV

入力信号 (有効走査線数)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	HDMIサポート信号
525I (480I)	15.7	60	✓
525P (480P)	31.5	60	✓
625I (576I)	15.6	50	✓
625P (576P)	31.3	50	✓
750P (720P)	45.0	60	✓
1125I (1035I)	28.1	50	
1125I (1035I)	33.8	60	
1125I (1080I)	28.1	50	✓
1125I (1080I)	33.8	60	✓

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 <p>映像が出ない、 またはプロジェクターが 始動しない</p>	・ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	30
	・ 接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	・ 表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	31
	・ プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	25～29
	・ リモコンの乾電池が消耗していませんか。	16
	・ ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	28
 <p>映像が出ない（暗い）</p>	・ ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	57～58
	・ プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	25～29
	・ 映像調整の「明るさ」が「-（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。	45
 <p>色がうすい、色あいが悪い</p>	・ 映像調整は、正しく調整されていますか。	45
	・ 「メニュー」 - 「映像調整」 - 「色あい」または「色の濃さ」、 「BrilliantColor™」を調整してください。	
 <p>映像がボヤける ノイズが発生する</p>	<ビデオ入力のとき>	
	・ ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	50
	・ レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	32
	・ 投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	22
	・ レンズが結露していませんか。寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源コードをコンセントから抜いてしばらくそのまま放置してください。	-
<p><コンピュータ入力のとき></p>	・ 同期調整(クロック調整)を行ってください。	48
	・ 同期調整(位相調整)を行ってください。	48
	・ コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	-
入力5/入力6のコンポーネントモードで画面が緑がかる	・ 「オプション1」メニューの「入力信号タイプ」が正しく設定されていますか。	50
入力5/入力6のRGBモードで画面がピンクがかる		
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	・ 画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示（本体ランプ）が赤点灯（点滅）する	・ 「お知らせ表示について」をご覧ください。	54

こんなとき	ここをお調べください	ページ
映像が明るすぎて白っぽくなる	・ 映像調整は、正しく調整されていますか。	45
INPUT6(入力6)に接続しているとき、映像の黒部がつぶれたり、黒部が浮き上がったりする	・ HDMI設定で「標準」、「特殊」の設定から映像が最良になる方を選択します。	50
ファンの音が大きくなる	・ 内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	—
電源を入れてもランプが点灯しない	・ ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	54、57
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちたつくことがある	・ 接続状態や接続機器に問題はありますか。 ・ 頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	25～29 57
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	・ ランプは消耗品です。寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなる場合があります。ランプを交換してください。	57
映像が暗い		
リモコンで操作できない	・ リモコンの発信部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか。リモコン受光部に向かって操作してください。 ・ プロジェクターから離れすぎていませんか。 ・ リモコンの受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。	17
	・ リモコンの乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか。新しい乾電池を正しい向きでセットしてください。	16

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約5分以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直して下さい。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。


転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

- 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時
*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
(注) PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ PHS・IP電話でのご利用は	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は	(F A X)	043-299-3865	06-6792-3221
○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。			

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にも承っております。

■ 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

地区別窓口一覧

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23	
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10

地区別窓口一覧(つづき)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター



0120 - 078 - 178

○フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821 FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582 FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

- 受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時
*日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）
- FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(06.02)

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源（ランプ）以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源（ランプ）およびその修理工料は、お買いあげの日から6カ月は無料です。（6カ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

ご不明な点や修理に関する ご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（64ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（62ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名:	シアタープロジェクター
形名:	XV-Z3000
お買いあげ日:	(年月日)
故障の状況:	(できるだけ具体的に)
ご住所:	(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前:	
電話番号:	
ご訪問希望日:	

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ お客様へ… お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 () —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出不い。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

品名	プロジェクター		
形名	XV-Z3000		
表示方式	単板DMD™ カラーホイール色分離方式		
パネル	パネルサイズ	0.65 型 DLP™方式	
	画素数	983,040 (横1280×縦768)ドット	
レンズ	1～1.15倍手動ズームレンズ F2.4～F2.6 f=19.0mm～21.9mm		
ランプ	275W		
定格電圧	AC100V～240V		
定格周波数	50/60Hz		
入力電流	3.7A		
消費電力	100V	ランプ設定	
		明るさ優先	355W
	240V	エコ+静音	310W
		明るさ優先	340W
		エコ+静音	300W
消費電力(電源スタンバイ時)		4W (AC100V) ～5W (AC240V) *1	
使用温度範囲		5℃～35℃	
保管温度範囲		-20℃～+60℃	
入力端子	コンポーネント入力端子 (INPUT1/2)	RCA ピン端子 Y、P _B (C _B)、P _R (C _R)	
	S映像入力端子 (INPUT3)	4ピンミニDINコネクタ	
	ビデオ入力端子 (INPUT4)	RCAピン端子	
	RGB入力/コンポーネント入力端子 (INPUT5)	RGB分離型アナログ信号/コンポーネント信号: 15ピンミニD-sub端子	
	HDMI入力端子 (INPUT6)	HDMI端子 (映像信号のみ対応)	
RS-232C端子		9ピンミニDIN	
TRIGGER (トリガー) 端子		電源ジャック: DC 12V出力	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法		幅315mm、奥行280mm、高さ109mm (突起部除く)	
質量		4.0kg	

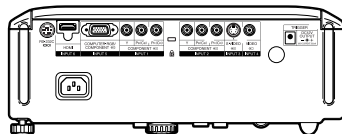
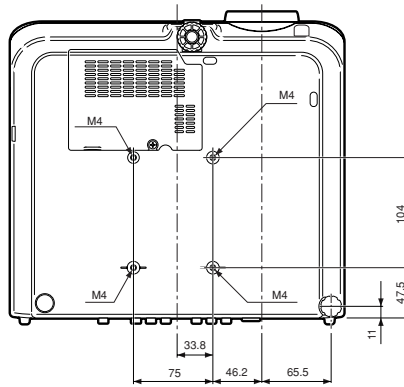
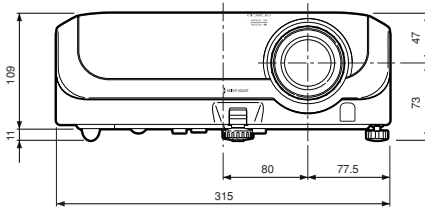
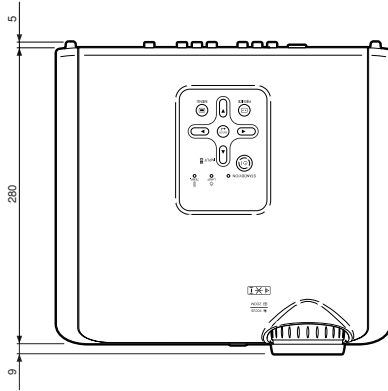
*1: 待機状態モードの設定が「エコ」のとき

お願い

- ・ DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がいくらかある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませので、あらかじめご了承ください。
- ・ ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

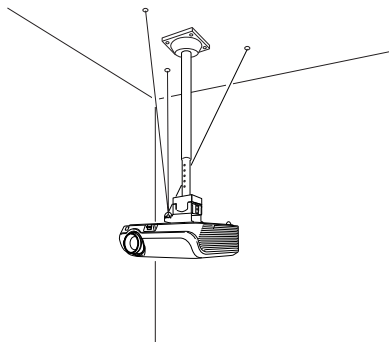
寸法图

单位：mm



天吊り

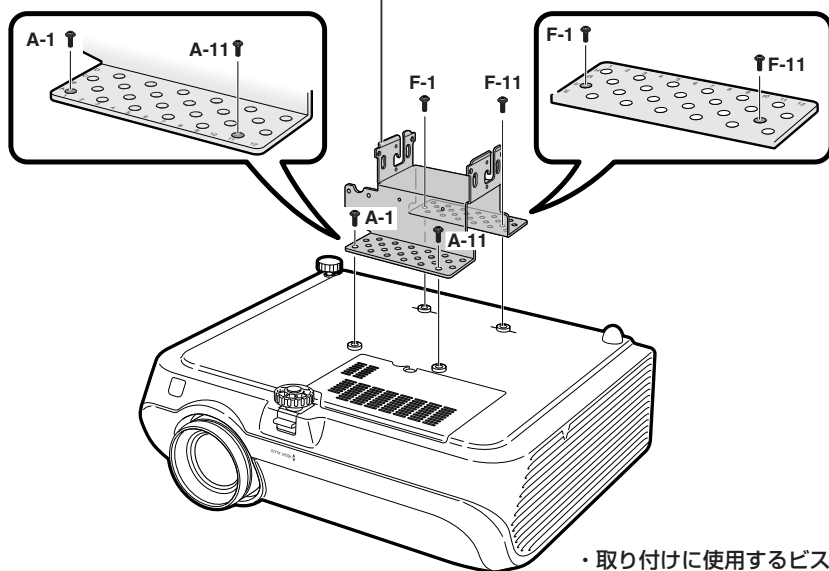
プロジェクターを天井に設置するときは、22ページの画面下端からレンズセンターまでの距離に合わせて設置位置を決めてください。



AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。

天吊り用取り付けアダプター（別売品）の取り付けかた

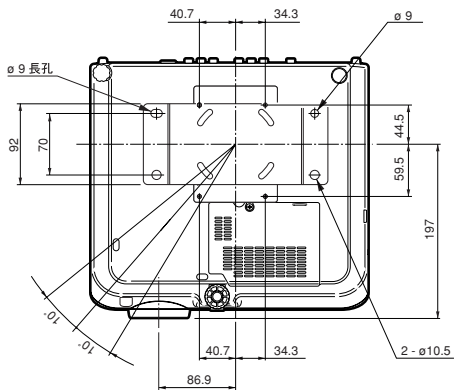
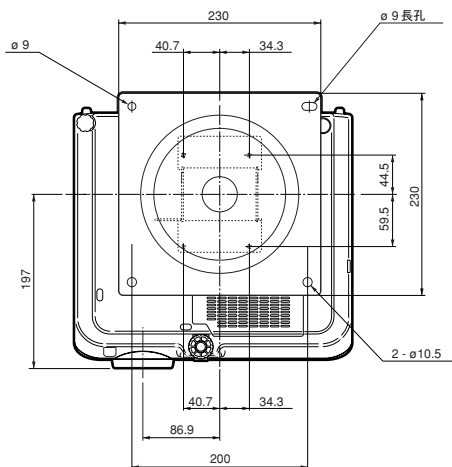
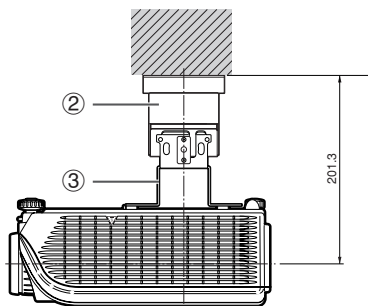
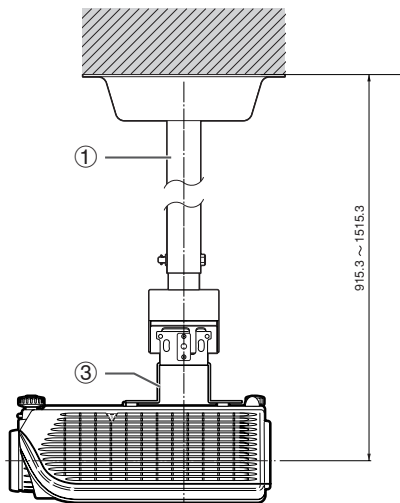
天吊り用取り付けアダプター
(AN-60KT)



- ・取り付けに使用するビス穴はA-1、A-11、F-1、F-11です。
- ・天吊り用取り付けアダプターに付属のビス(M4)を使用してください。

寸法図(つづき)

	品名	型名
①	高天井用取り付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取り付けユニット	AN-TK202
③	天吊り用取り付けアダプター	AN-60KT



索引

記号英数

AC 電源ソケット	30
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	48
BrilliantColor™	45
C.M.S.	46
DIN-D-sub RS-232C アダプター	29
DNR	47
ENTER (決定) ボタン	43
FREEZE (静止画) ボタン	40
H&V キーストーン	37
HDMI 設定	50
IMAGE SHIFT (画面シフト) ボタン	40
INPUT (入力) 1 端子	37
INPUT (入力) 2 端子	25
INPUT (入力) 3 端子	26
INPUT (入力) 4 端子	26
INPUT (入力) 5 端子	27、28
INPUT (入力) 6 端子	27
INPUT (入力切換) ボタン	31
IRIS (アイリス) ボタン	40
KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン	34
LIGHT (バックライト) ボタン	15
MENU (メニュー) ボタン	43
ON (電源入) ボタン	30
PICTURE MODE (映像モード) ボタン	40
RESIZE (画像サイズ切換) ボタン	38
RETURN (戻す) ボタン	43
RGB/COMP.(RGB/コンポーネント信号切換) ボタン	50
RS-232C 端子	29
STANDBY (スタンバイ) ボタン	31
STANDBY/ON (スタンバイ/電源入)ボタン	30
TRIGGER (トリガー) 端子	14
4 点補正	36

ア行

アイリス	40、47
青	45
赤	45
明るさ	45
アジャスター	32
イメージシフト	40
色あい	45
色温度	46
色の濃さ	45
映像信号方式	50
映像調整メニュー	45
映像モード	40、45
オーバースキャン	49
オプションメニュー	49
温度モニター表示	54
温度モニター機能	54

カ行

カーソルボタン	43
画面サイズ (RESIZE)	38
画面 (スクリーン) サイズと投射距離	22
画面シフト	49
画面表示	50
乾電池	16

吸気孔	13、14、53
クロック	48
後部アジャスター	33
コントラスト	45

サ行

彩度	46
色相	46
自動同期調整 (AUTO SYNC)	48
字幕調整	49
シャープネス	45
ズーム (表示イメージ)	38
ズームリング	32
垂直位置	48
水平位相	48
水平位置	48
スクイーズ (表示イメージ)	38

タ行

待機状態モード	52
台形補正	34
高さ調整レバー	32
電源コード	30
投射方式	21、51
同期調整メニュー	48
盗難防止用コネクター	14、15
特殊モード	48
ドットバイドット (表示イメージ)	39

ナ行

入力 1~6 モード	31
入力信号確認	48
入力信号タイプ	50

ハ行

排気孔	14、53
バックグラウンド	50
標準 (表示イメージ)	38
ファンモード	52
フォーカスリング	32
付属品	5
プログレッシブ	46
別売品	5

マ行

無信号電源オフ	51
明度	46

ラ行

ランプ	5、56
ランプ交換	57
ランプ交換表示	54
ランプ時間 (残率)	51
ランプ設定	47
リモコン	15
リモコン受信部	17
レンズキャップ	13

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター



0120-078-178

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室 TEL 043-351-1821 FAX 043-299-8280

西日本相談室 TEL 06-6792-1582 FAX 06-6792-5993

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

64ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地

中国印刷
TINS-C221WJN1
06P02-CH-NG